

第2次小城市総合計画

資料



小城市キャラクター「こい姫」と「ようかん右衛門」

総合計画審議会

総合計画審議会は、市長の諮問*に応じ、総合計画に関する事項について調査及び審議し、意見を取りまとめて、市長に答申*する機関です。

- * 諮問...有識者などに意見を求めること
- * 答申...諮問に対して、意見を申し述べること。

平成26年9月から全11回の審議会を開催し、審議を重ねていただきました。

平成28年7月8日（金）、吉岡剛彦会長から江里口市長へ答申書が提出され、市では、この答申を踏まえて計画をまとめました。



江里口市長に答申書を渡す吉岡会長（左）

審議の様子



審議会の開催実績

H26.9.29	第1回 審議会
H27.2.9	第2回 審議会
H27.3.9	第3回 審議会
H27.3.25	第4回 審議会
H27.4.28	中間答申
H28.1.26	第5回 審議会
H28.4.13	第6回 審議会
H28.4.26	第7回 審議会
H28.5.12	第8回 審議会
H28.5.23	第9回 審議会
H28.5.31	第10回 審議会
H28.6.10	第11回 審議会
H28.7.8	最終答申



用語解説

1-1 計画的な土地利用の推進と効率的な都市づくり

P 25

計画に沿って適切に利用される	土地の取引や開発行為において必要な届出等の手続きがなされている状態のこと又は農業振興地域内の農地が遊休化されことなく耕作されている状態のこと。
拠点地区が活力ある	「拠点地区」は、小城市都市計画マスタープランに基づく、小城中心拠点（JR小城駅、小城公園、まちなか市民交流プラザ周辺）、牛津地域拠点（JR牛津駅周辺）、三日月拠点（市役所周辺）、芦刈拠点（芦刈地域交流センター周辺）の4つの拠点のこと。 「活力ある」は、人が住み、集い、活気あふれる状態のこと。
農業振興地域	自然的・経済的・社会的諸条件を考慮して総合的に農業の振興を図ることが必要であると認められる地域のこと。
農用地区域	おおむね10年以上にわたり農業上の利用を確保すべき土地として、農業振興地域内に設定した区域のこと。
遊休農地	耕作の目的に供されておらず、かつ、引き続き耕作の目的に供されないと見込まれる農地のこと。耕作放棄地

1-2 居住環境の充実

P 26

快適な居住環境で暮らせる	「居住環境」とは、身近な生活空間のこと。（住宅・公園・緑地などで、下水道・道路・交通は含まない） 「快適に暮らせている状態」とは、以下のような不快と感じる原因がない状態のこと。 1. ペット 2. ごみ 3. 騒音・振動 4. 悪臭 5. 野焼き 6. 害虫 7. 空き家 8. 空き地 など。
環境衛生推進員	地域の環境保全及び環境美化等を推進するため、各行政区に1名、市長が委嘱している。（任期1年）

1-3 水道水の安全・安定供給

P 27

有収率	水道施設から給水した水量と料金として収入のあった水量との比率。
西佐賀水道	西佐賀水道企業団。小城市三日月町（甘木、久米、本告を除く）、牛津町、芦刈町、佐賀市久保田町、白石町（旧福富町）を対象に水道を供給している。

1-4 下水処理の充実

P 28

合併処理浄化槽	トイレの汚水だけでなく、台所、風呂の生活雑排水も一緒に処理する浄化槽のこと。
家庭用浄化槽設置整備事業	合併浄化槽を個人で設置される方に補助を行う事業。
下水道計画区域	将来的に下水道による整備を行うことを定めた区域。
地方公営企業法	地方公共団体の経営する一部企業に適用される法律。
下水道普及率	処理区域内の人口に対して、供用開始区域内人口の比率を表したもの。

下水道水洗化率	供用開始区域内人口に対して、水洗化人口の比率を表したもの。
汚水処理人口普及率	行政区域内人口に対して、下水道、農業集落排水等及びコミュニティプラント（小規模な下水処理施設）の供用開始区域内人口に合併処理浄化槽を利用している人口を加えた値の比率を表したものの。
汚水処理人口水洗化率	下水道、農業集落排水等及びコミュニティプラント（小規模な下水処理施設）の供用開始区域内人口に合併処理浄化槽を利用している人口を加えた値に対して、水洗化人口の比率を表したもの。
1-5 循環型社会の形成 P 29	
循環型社会	限りある資源を持続可能な形で有効に活用していく社会のこと。
広域クリーンセンター	小城市・多久市の可燃ごみを共同で処理する施設。天山地区共同環境組合において現在建設に向けて準備が進められている。
家庭系廃棄物	家庭から排出される廃棄物のこと。
事業系廃棄物	事業所から排出される廃棄物のこと。（産業廃棄物を除く）
2-1 道路の保全と交通網の充実 P 31	
目的地まで行きやすい	市内の道路を便利で快適に利用できること。
公共交通機関	J R（小城駅・牛津駅・久保田駅）、生活交通バス（昭和バス・祐徳バス）、路線バス（小城・牛津線・福富線）、巡回バス等（広域循環バス・小城町巡回バス・三日月町巡回バス・牛津町巡回バス・芦刈町乗合タクシー・小城やまびこタクシー）のこと。
3-1 自然環境の保全 P 34	
自然環境	山・海・河川・生態系のこと、天山、有明海、清水の滝、江里山の棚田、ホタル、ムツゴロウなどに代表される小城市の自然環境とそこに生息するすべての動植物のこと。
自然環境の保全活動	以下のような活動のこと。 1.自然環境の保全や修復に関する活動（美化清掃含む） 2.生態系の変化を把握するため、継続的に行う動植物の調査 3.絶滅危惧種の絶滅を未然に回避するために行う予防活動 4.移入種の侵入予防、侵入の初期段階での発見・対応、定着した生き物の駆除管理等の活動 など。
環境リーダー	環境関係の様々な活動を率先して行う人材のこと。
環境保全団体	環境関係の様々な活動を行っている団体のこと。
3-2 歴史の継承、文化・芸術の振興 P 35	
文化財	人間の文化的活動による所産で文化的価値を有するもの。
歴史、文化・芸術活動	過去からの事象や伝統的なものについての知識や技芸を習得することや習得したことを周囲に伝える活動のこと。

用語解説

展示施設	市立歴史資料館・中林梧竹記念館のこと。
伝統芸能	地域に伝わる祭り、浮立などの行事。
4-1 健康づくりと生涯スポーツの充実 P 37	
健康づくり	以下のようなこと。 1. 食事や栄養に気をつけている 2. 運動やスポーツをする 3. 十分な睡眠や休養をとる 4. 健康診断を受けている 5. 健康づくりに関する情報や知識を得る 6. 禁酒・節酒 7. 禁煙・減煙 8. 話し相手を見つける 9. 趣味を見つける など。
地域資源	自然資源のほか、まちづくり、地域活性化などに活用可能なもの。 小城市では、牛津保健福祉センター「アイル」や牛津総合公園周辺の地域資源（天然温泉・公園など）の魅力を高めて、健康のまちを目指す「アイル資源磨き構想」を平成27年度に策定した。
4-2 保健・医療の充実 P 38	
行動計画	病原性が高く国民生活及び経済に大きな影響を及ぼす感染症の発生・流行を最小となることを目的とした『小城市新型インフルエンザ等対策行動計画』のこと。
生活習慣病	心臓病・高血圧症・糖尿病・癌・脂質異常症など、不適切な食事、運動不足、喫煙、飲酒などの生活習慣に起因すると考えられる病気。
一次・二次医療	「一次医療」とは、風邪や腹痛など日常的な疾病の通院治療に対応する医療のこと。 「二次医療」とは、虫垂や胃潰瘍など比較的専門性の高い外来治療や一般的な入院治療に対応する医療のこと。
4-3 生涯学習の充実 P 39	
生涯学習	一般的に自由な意志に基づいて、それぞれにあった時に、あった方法で、学習したり、仲間と活動したりして生き生きと豊かな生活をしていくこと。例えば、1. 趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踏、書道、読書など） 2. 教養的なもの（文学、歴史、科学、語学など） 3. 家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など） 4. 育児・教育（家庭教育、幼児教育、教育問題など） 5. 職業上必要な知識・技能（仕事関係の知識習得、資格習得など）など。
文化人財バンク	人は財（宝）、人材は財産との観点から、その財を魅力ある地域づくりに役立て、文化芸術活動をサポートするため、小城市文化連盟が設けている講師等派遣のための登録制度。
5-1 地域福祉の充実 P 41	
民生委員・児童委員	民生委員は、民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員で、ボランティア（無報酬、任期3年）として活動している。また、民生委員は児童福祉法に定める児童委員を兼ねることとされている。民生委員・児童委員は、人格識見高く、広く地域の実情に通じ、社会福祉の増進に熱意のある人など、民生委員法に定める要件を満たす人が委嘱されている。 小城市の定数は、民生委員・児童委員83人、主任児童委員8人。

安心して生活できている	以下のような不安のない状態のこと。 1.自分や配偶者の健康や病気のことが不安 2.自分や配偶者が寝たきりや身体が不自由になり介護が必要な状態になることが不安 3.生活のための収入のことが不安 4.子どもや孫の将来が不安 5.頼れる人が居なくなりひとり暮らしになることが不安 6.社会のしくみが大きく変わってしまうことが不安 7.資産の管理や相続のことが不安 など。
5-2 高齢者福祉・介護の充実 P 42	
介護	要介護状態になることを予防する介護予防や地域での生活を支援する介護サービスなどの提供。
自立した生活ができる	自分で考え、ほぼ一人で行動し、より良い生活ができるように努めている状態のこと。
5-3 障がい者福祉の充実 P 43	
社会参加	他者との交流や地域社会(近隣・学校・職場・病院・各種団体等)とのつながりを持つこと。
小城多久障害者相談支援センター	小城市・多久市共同で実施しているもので、障がい者本人やその家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言・権利擁護のために必要な支援を行うセンターのことで桜楽館内にある。
障がい福祉事業所	介護サービスや機能訓練・就労支援などの障害福祉サービスを提供する事業所のこと。
地域活動支援センター	在宅の障がい者が通所により創作的活動や生産活動を行い、社会との交流促進や経済的自立などの便宜の供与を図るセンターのこと。
地域生活支援拠点	障がい者が地域で安心して生活できるように、グループホームや障がい者支援施設などの居住支援機能と、地域相談支援などを担当するコーディネーターやショートステイといった機能を合わせた拠点のこと。
5-4 じんけん尊重社会の確立 P 44	
じんけん	小城市では、人権をわかりやすく、身近に感じてもらえるようにひらがなで表記するようにしている。
人権擁護委員	市長が議会に意見を求めて、法務局長へ推薦し、法務大臣から委嘱される。地域の中で人権尊重思想を広め、住民の人権が侵害されないように配慮し、人権を擁護する活動を行う。小城市の人権擁護委員の定数は9人。
5-5 男女共同参画の推進 P 45	
夫は外で働き、妻は家庭を守るべき	人々の意識の中に長い時間をかけて形づくられてきた性別に基づく「固定的性別役割分担意識」を表す指標として、全国的に「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきかどうか」という考え方についての設問が多く使用されている。
審議会等	法律に基づき市が設置する附属機関や委員会等。(学識経験者、市民等の意見を求め、これを市政に反映させることを主な目的として、規則、要綱等に基づき市が設置したものも含む)

用語解説

6-1 子育て支援の充実

P 47

小城市子ども・子育て支援事業計画

子ども・子育て支援の量・質の充実及び安心して子どもを産み育てる環境や全ての子どもが健やかに成長できる社会の実現を目的として策定している。平成26年度に策定し、平成27年度から平成31年度までの5年計画。

6-2 学校教育、幼児教育・保育の充実

P 48

生きる力

「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力」・「自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性」・「たくましく生きるための健康や体力」など、これからの社会の変化に対応できる力のこと。

I C Tを活用した学習指導

情報通信技術（information and communication technology：インターネットを利用した教育など）を活用した学習指導のことで、デジタルテレビや教員用コンピューター、インターネットを活用できる環境下（校内LAN）での児童・生徒用タブレット端末などを用いて教育の質の向上を目指すもの。

進路希望達成率

中学3年生時の第2回進路希望調査と卒業時の最終進路先との比較による進路希望の達成率。

全国体力調査体力合計点

文部科学省が毎年行うスポーツテストの合計点数の平均。

豊かな心を持つ子どもの割合

「全国学力学習状況調査」の「意識調査」から抜粋した「物事を最後までやり遂げて、嬉しかったことがありますか」、「学校の規則を守っていますか」、「人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか」、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」などの設問で「はい・どちらかといえばはい」と肯定的回答をした児童・生徒の割合。（対象：小学6年生・中学3年生）

早寝・早起き

早寝は、21時までに寝ること。早起きは、7時までに起きること。

6-3 青少年の健全育成

P 49

心身ともに健やかにたくましく成長している

年齢相応に物事を理解し、自分で考え判断し、行動できるようになることや人の気持ちを知り、うまく人づきあいができるようになること。

7-1 農林業の振興

P 51

認定農業者

農業者が農業経営基盤強化促進基本構想に示された農業経営の目標に向けて、自らの創意工夫に基づき、経営の改善を進めようとする計画を市町村が認定し、これらの認定を受けた農業者のこと。

集落営農組織

集落営農とは、集落を単位として、生産行程の全部又は一部について共同で取り組む組織のこと。

6次産業化

農林業（1次産業）と製造業（2次産業）、小売業（3次産業）を組み合わせた新しい経営形態を指す。農業を続けながら利益を上げ、それぞれの土地の資源を有効に活用することで、地域活性化にもつながると期待されている。

森林施業	森林を育成するために行う造林、保育、伐採等の一連の森林に対する人為的 行為を実施すること。
間伐	森林において樹木の健全な発育を助けるために一部の木を切ること。
7-2 水産業の振興 P 52	
漁家	漁業で生計をたてている世帯。
7-3 商工業の振興 P 53	
親善大使	主に首都圏を中心に活躍されている小城市出身の方に委嘱している。主な活動 として、首都圏での市の特産品、観光情報など積極的に市のPRを行っている。 平成28年10月時点で21人。
ふるさと応援寄附金	出身地や応援したい地方公共団体に寄附できる制度で「ふるさと納税」と言われる。 地方間格差や過疎などによる税収の減少に悩む自治体に対しての格差是正を 推進するために平成20年に創設された。
製造品出荷額	工業統計調査の項目一つで、従業員4人以上の事業所を調査対象として推計 されたものである。製造品出荷額とは、1年間における製造品出荷額、加工賃 収入額、その他の収入額等の合計額と消費税等を含んだ額のこと。
8-1 多様な文化の理解と地域間交流の推進 P 55	
多様な文化	国際的・地域的に異なる文化のこと。
地域間交流活動	異なる地域（最小の単位は町）の人々がふれあい、その間で様々な物事のやりと りがあること。（町単位のイベントや地域活動への参加も含む）
8-2 協働によるまちづくりの推進 P 56	
まちづくり活動	地域の様々な課題解決のための活動であり、例えば以下のような活動のこと。 1.自治会などの地域活動 2.老人クラブ、婦人会、子どもクラブ、消防団などの 活動 3.自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動 4.児童や青少年の 健全育成に関する活動 5.教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動 6.高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動 7.通院介護や健康管理の 指導など保健・医療に関する活動 8.募金や寄付、バザー等に関する活動 9.地 域づくりやまちおこしに関する活動 10.自主防災や災害援助、交通安全に関する 活動 11.名所案内・説明など観光に関する活動 12.国際交流、国際協力に関 する活動 13.農協、漁協、商工会議所や商工会の活動 など。
産学官	産業界（民間企業）、学校（教育・研究機関）、官公庁（国・地方公共団 体）のこと。
市民活動団体	自主的・主体的に社会公益活動を行う団体のこと。

用語解説

9-1 情報発信の充実

P 58

ファイリングシステム

文書管理の手法。小城市では、“文書は市民との共有財産である”という考えのもと、文書の私物化及び不要文書の氾濫という文書管理上の問題を解決し、事務の効率化や最適な政策決定のために平成18年度から「AKF（行政ナレッジファイリング）」という文書管理システムを導入している。

9-2 観光の振興

P 59

観光入込客数

日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない者で、観光地点・行祭事・イベントを訪れた人数のこと。

10-1 防災・減災体制の充実

P 61

災害

1.大雨・洪水 2.台風 3.地震 4.津波・高潮 5.土砂 6.火災 7.原子力など。

いざというときの防災の準備

1.防災マップの確認 2.避難時の非常持ち出し品の準備 3.非常用備蓄品（非常食・水など）の準備 4.家具や棚の転倒防止 5.避難訓練の実施・参加 6.消火器訓練の実施・参加 7.家族間での連絡方法の確認 など。

自主防災組織のあるべき姿

災害時の連絡網が整備され、定期的に更新されている又は避難訓練等の防災活動が定期的（1年に1回程度）に行われている。

10-2 防犯体制の充実

P 62

地域安全活動

安全で、明るく住みよい地域社会を実現する目的で、犯罪や事故、災害等の被害を未然に防止するため地域住民、事業者、自治体、警察等が協働して行う防犯パトロール、防犯キャンペーン等のこと。

不良行為

飲酒、喫煙、深夜はいかいその他自己又は他人の徳性を害する行為のこと。不良行為をしている少年（20歳に満たない者）は、不良行為少年として保護の対象となる。

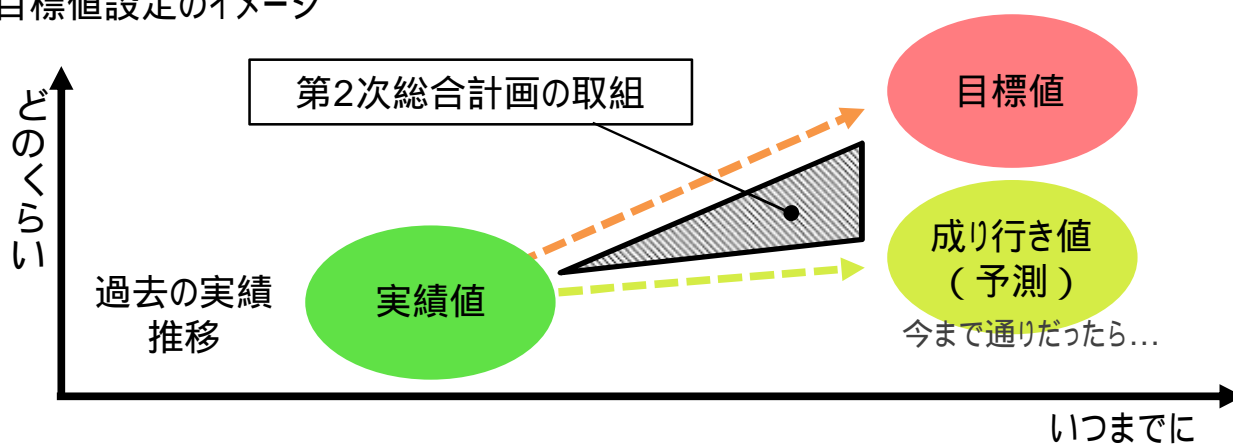
目標設定の考え方

・目標値設定の手順

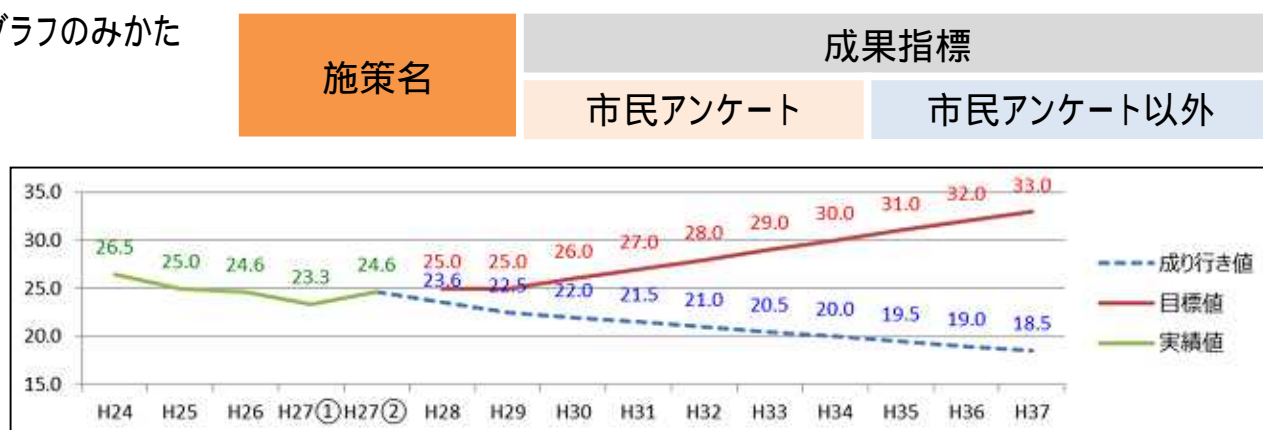


目的（対象・意図）を明確にし、実態把握（現状値把握）を行う。
 今まで通りを前提にした「成り行き予測値」を設定し、更に財源などの可能性を考慮した上で、意志を含めた目標値を設定する。

・目標値設定のイメージ



・グラフのみかた



H27 ...平成27年7月に実施した市民アンケートの結果（699人/2,000人 回収率 34.5%）

H27 ...平成28年3月に実施した市民アンケートの結果（852人/2,000人 回収率 42.6%）

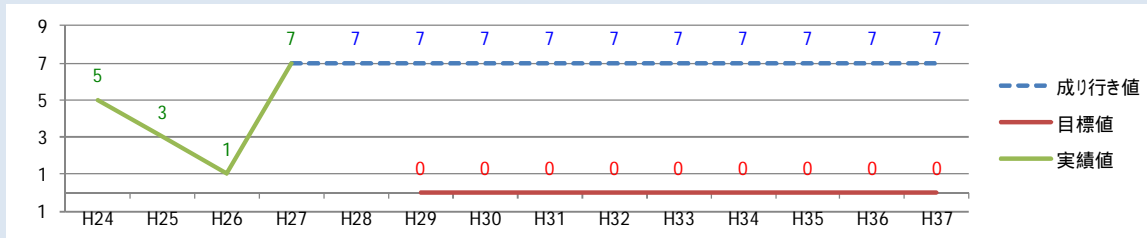
市民アンケートの場合は、グラフの下にそのアンケート設問を記載しています。

成果指標グラフ

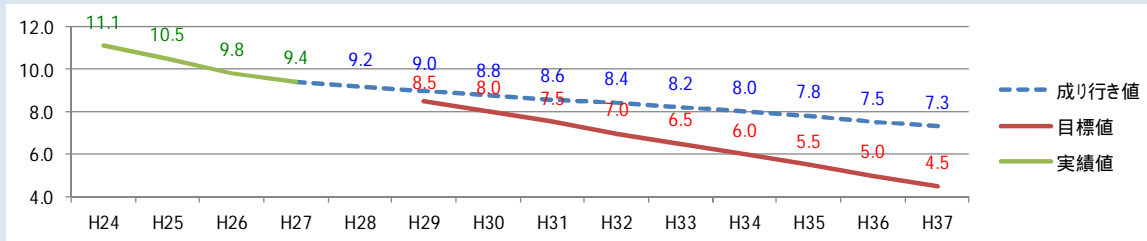
1-1 計画的な土地利用の推進と効率的な都市づくり

P 25

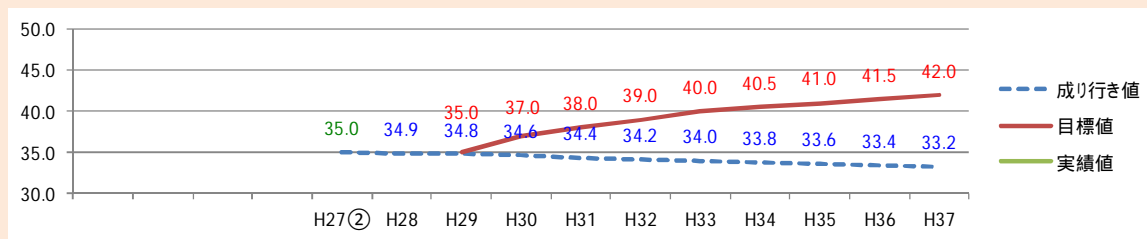
土地利用に関する無届（未届）件数（農地法・都市計画法・国土利用計画法）



農業振興地域のうち農用地区域に占める遊休農地の割合

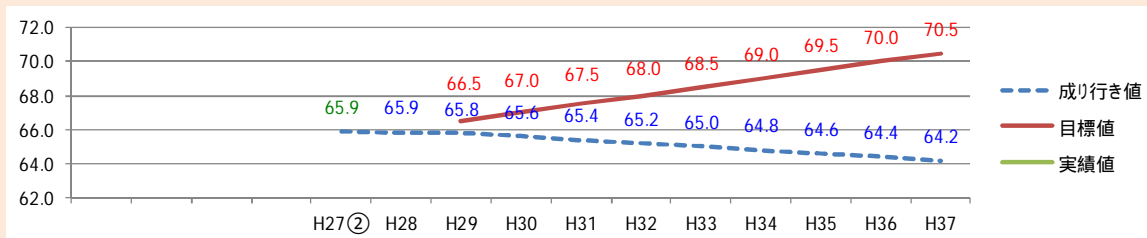


拠点地区が活力あると感じている市民の割合



「あなたは、拠点地区について、活力があると思いますか。」という設問で、「1.活力があると思う 2.どちらかといえば活力があると思う 3.どちらかといえば活力がないと思う 4.活力がないと思う」のうち、「1」「2」と回答した市民の割合。

小都市に住み続けたいと思う市民の割合

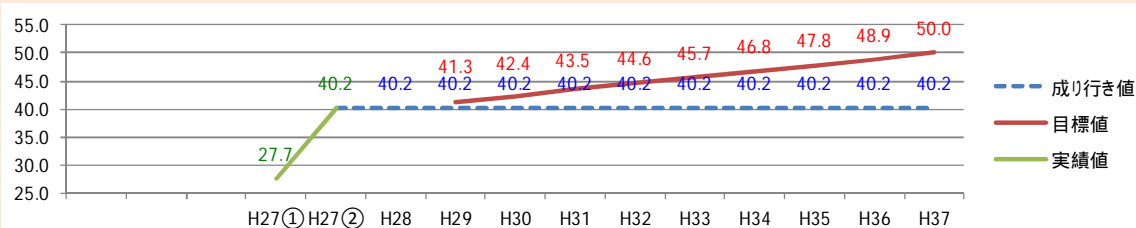


「あなたは、今後も小都市に住み続けたいと思いますか。」という設問で、「1.今住んでいるところに住み続けたい 2.市内の他の場所に住み続けたい 3.市外に転居したい 4.特に考えていない」のうち、「1」「2」と回答した市民の割合。

1-2 居住環境の充実

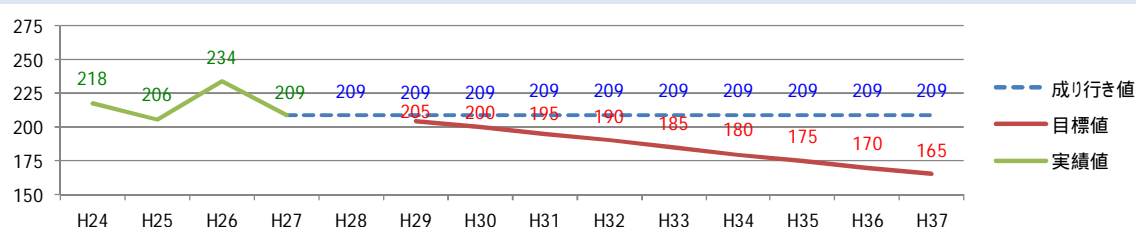
P 26

快適な居住環境で暮らせている市民の割合



「あなたは、快適な居住環境で暮らせていますか。」という設問で、「1.快適に暮らせている 2.どちらかといえば快適に暮らせている 3.どちらかといえば快適に暮らせていない 4.快適に暮らせていない」のうち、「1」と回答した市民の割合。

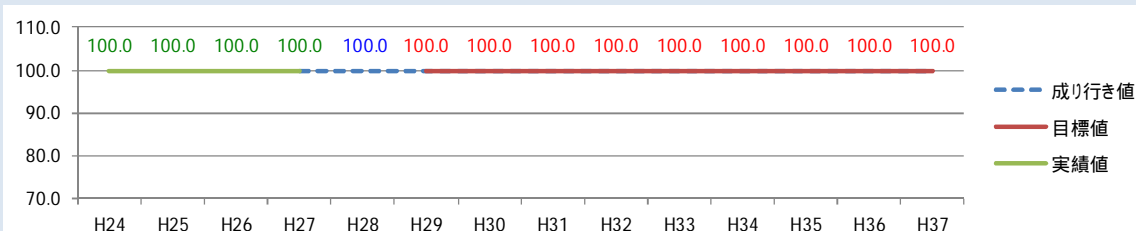
居住環境に関する要望件数



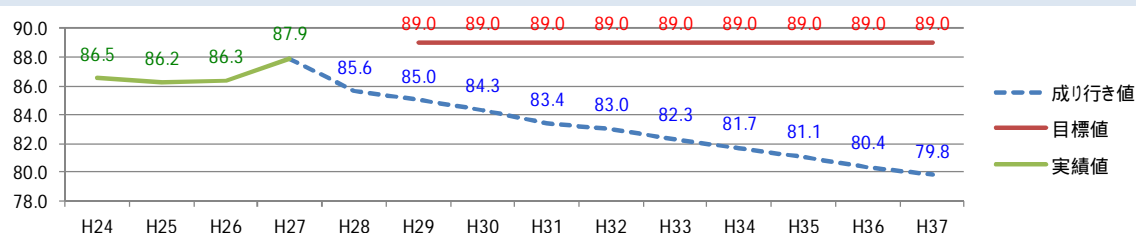
1-3 水道水の安全・安定供給

P 27

水質検査の適合率

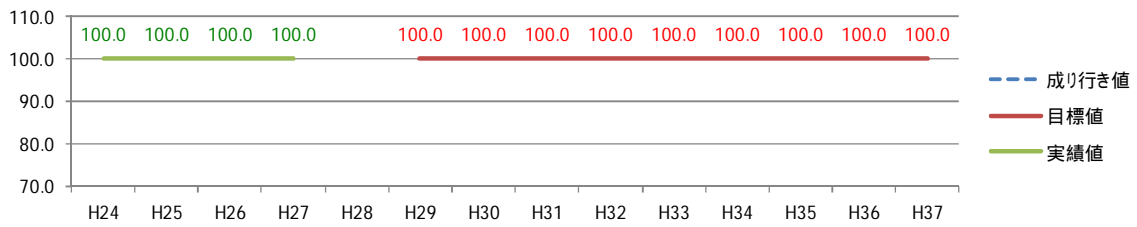


上水道の有収率

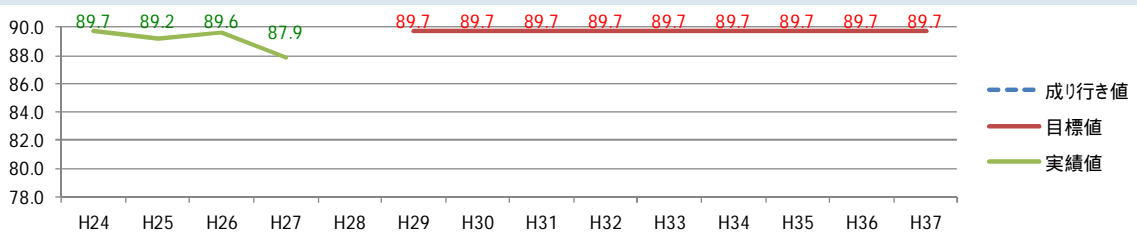


成果指標グラフ

(参考) 西佐賀水道の水質検査の適合率



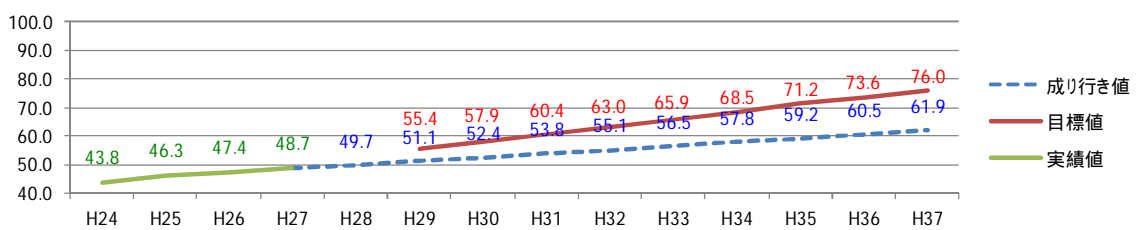
(参考) 西佐賀水道の有収率



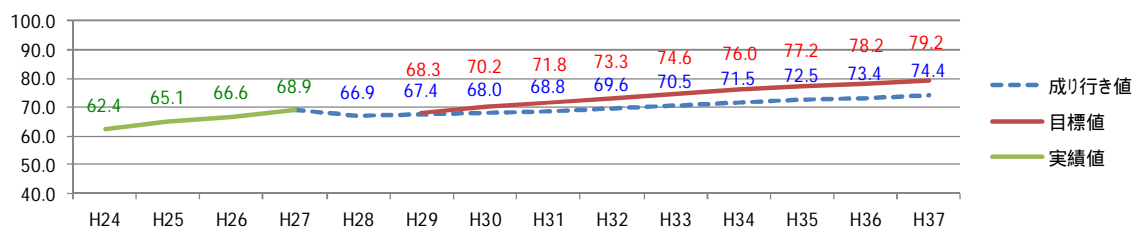
1-4 下水処理の充実

P 28

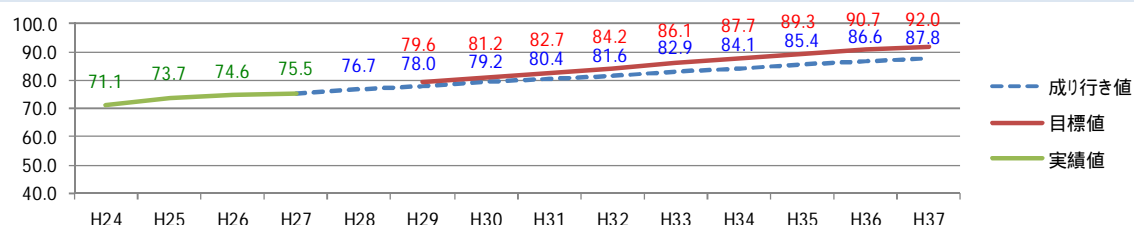
下水道普及率



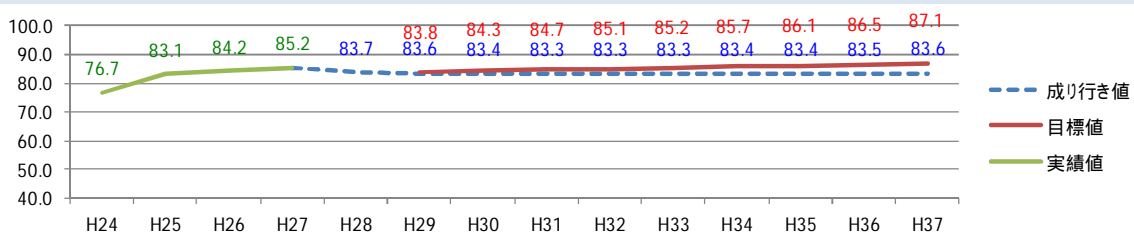
下水道水洗化率



汚水処理人口普及率



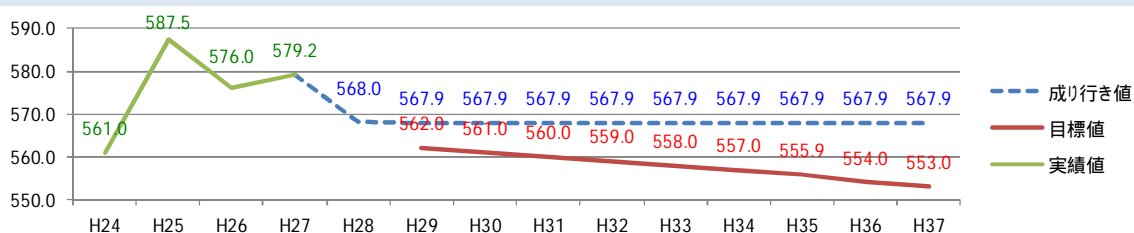
汚水処理人口水洗化率



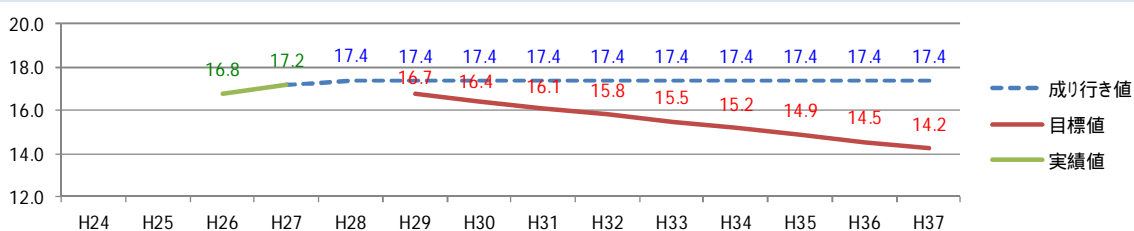
1-5 循環型社会の形成

P 29

家庭系廃棄物市民1人あたり排出日量

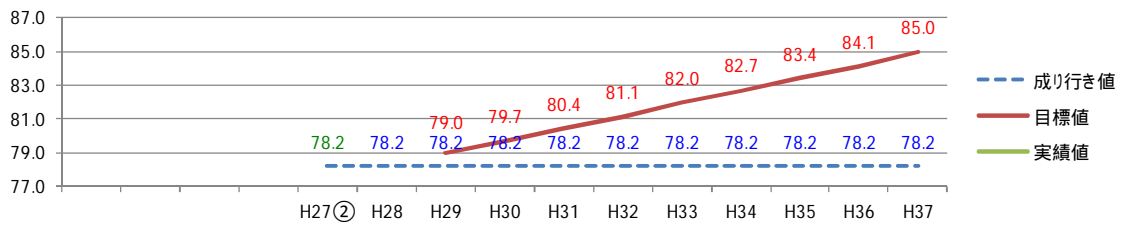


事業系廃棄物事業所1社あたり排出日量



成果指標グラフ

(参考) ごみ減量化に取り組んでいる市民の割合

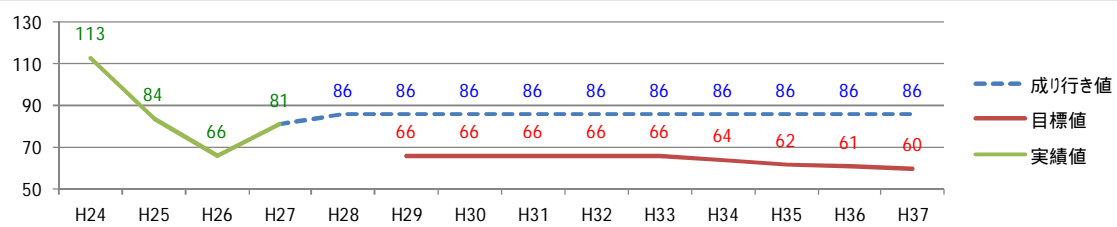


「あなたは、ごみ減量化に取り組んでいますか。」という設問で、「1.取り組んでいる 2.取り組んでいない」のうち、「1」と回答した市民の割合。

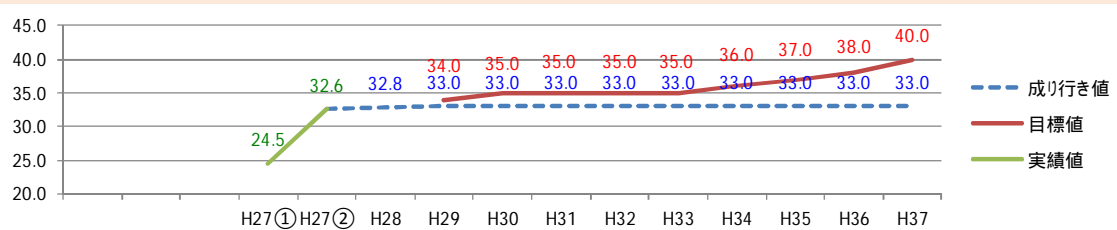
2-1 道路の保全と交通網の充実

P 31

市道が適切な管理がされていないことでの要望件数

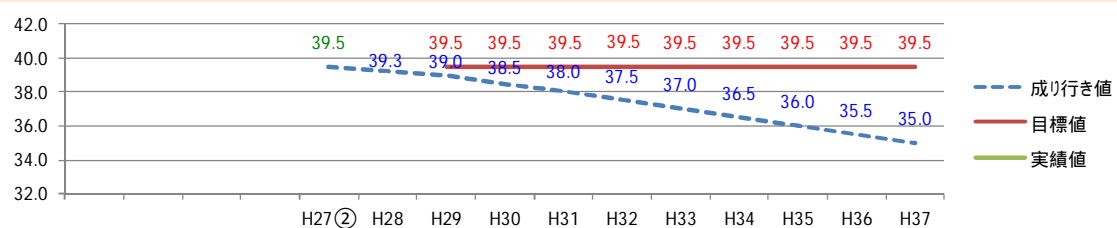


市内の道路について、目的地まで行きやすいと思う市民の割合



「あなたは、小城市内の道路（国道・県道・市道）の目的地までの行きやすさについて、どう思いますか。」という設問で、「1.行きやすい 2.どちらかといえば行きやすい 3.どちらかといえば行きにくい 4.行きにくい」のうち、「1」と回答した市民の割合。

公共交通機関を便利だと思う市民の割合

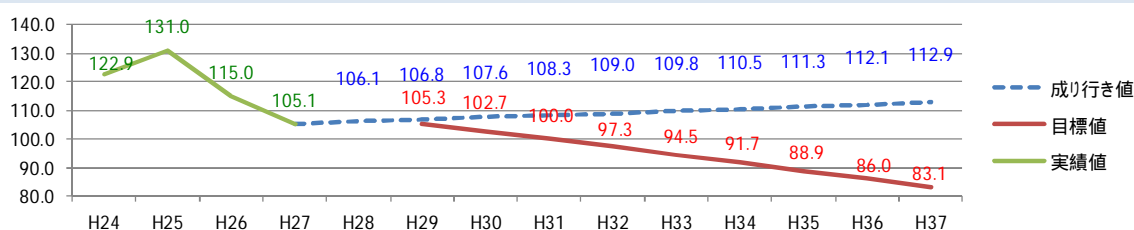


「あなたは、日常生活の移動（通勤・通学・通院・買い物など）で利用する小城市内の公共交通機関（JR・路線バス・巡回バス）を便利だと思いますか。」という設問で、「1.便利だと思う 2.どちらかといえば便利だと思う 3.どちらかといえば不便だと思う 4.不便だと思う」のうち、「1」「2」と回答した市民の割合。

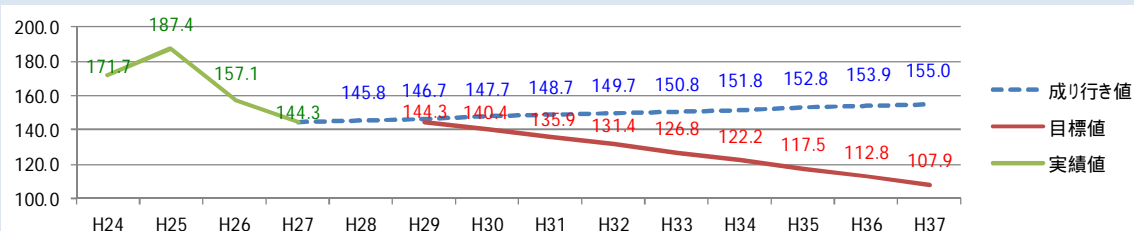
2-2 交通安全対策の充実

P 32

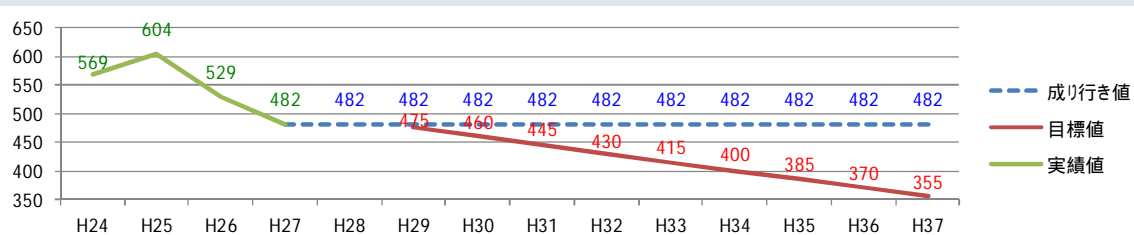
人口1万人あたりの人身事故発生件数



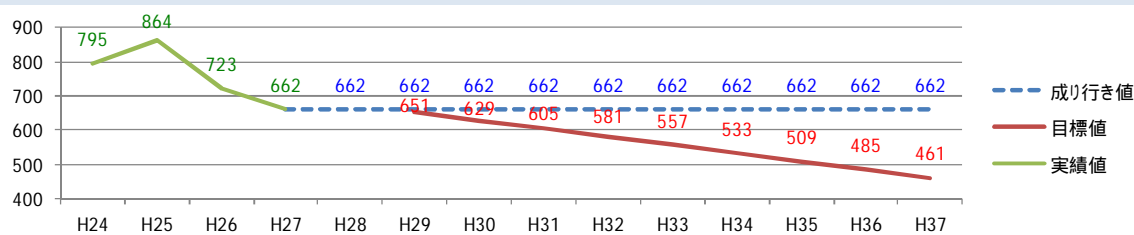
人口1万人あたりの交通事故死傷者数



(参考) 人身事故発生件数



(参考) 交通事故死傷者数

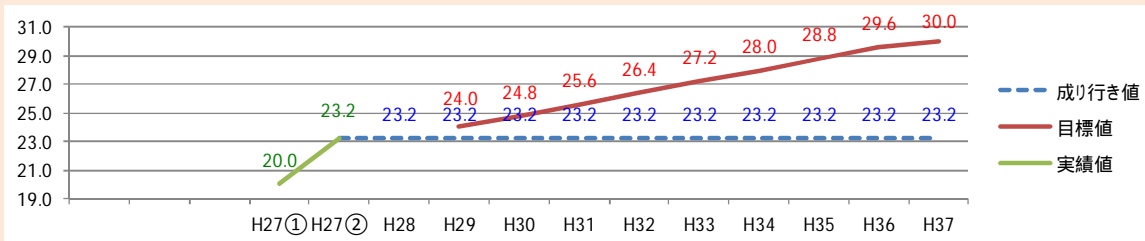


成果指標グラフ

3-1 自然環境の保全

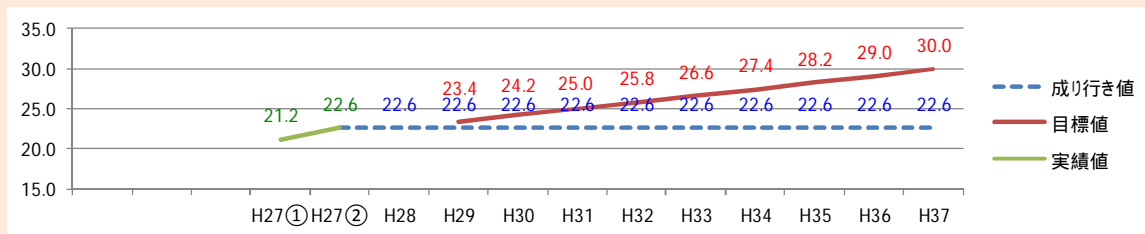
P 34

自然環境が保全されていると思う市民の割合



「あなたは、小城市の自然環境が保全されていると思いますか。」という設問で、「1.保全されている 2.どちらかといえば保全されている 3.どちらかといえば保全されていない 4.保全されていない」のうち、「1」と回答した市民の割合。

自然環境の保全活動に取り組んでいる市民の割合

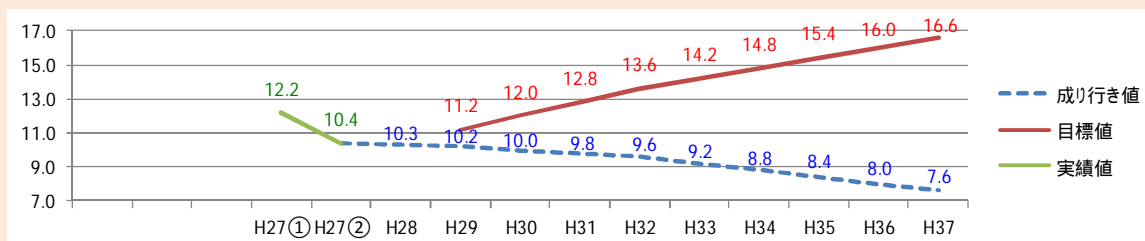


「あなたは、自然環境の保全活動に取り組んでいますか。」という設問で、「1.取り組んでいる 2.現在取り組んでいないが、今後取り組みたい 3.現在取り組んでおらず、今後も取り組むつもりはない」のうち、「1」と回答した市民の割合。

3-2 歴史の継承、文化・芸術の振興

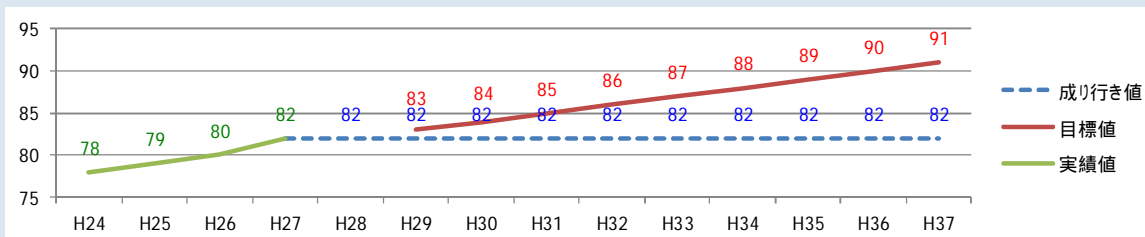
P 35

歴史、文化・芸術活動に取り組んでいる市民の割合

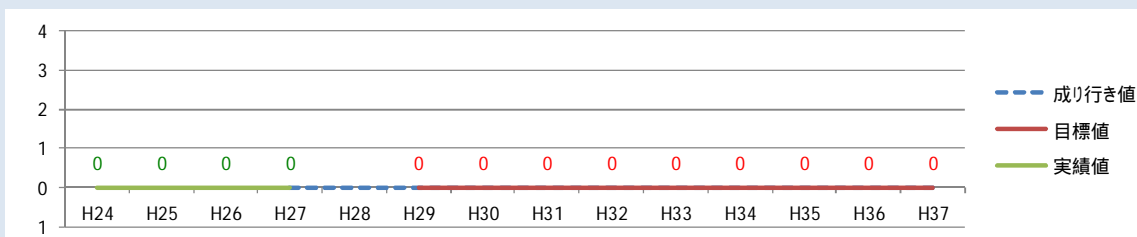


「あなたは、歴史、文化・芸術活動に取り組んでいますか。」という設問で、「1.取り組んでおり、今後も続けたい 2.取り組んでいるが、今後はやめたい 3.現在取り組んでいないが、今後取り組みたい 4.現在取り組んでおらず、今後も取り組むつもりはない」のうち、「1」「2」と回答した市民の割合。

文化財の指定件数



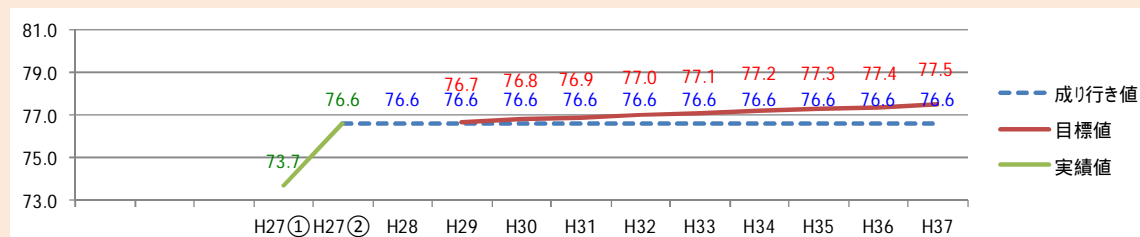
(参考) 文化財を適正に保存できなかった件数



4-1 健康づくりと生涯スポーツの充実

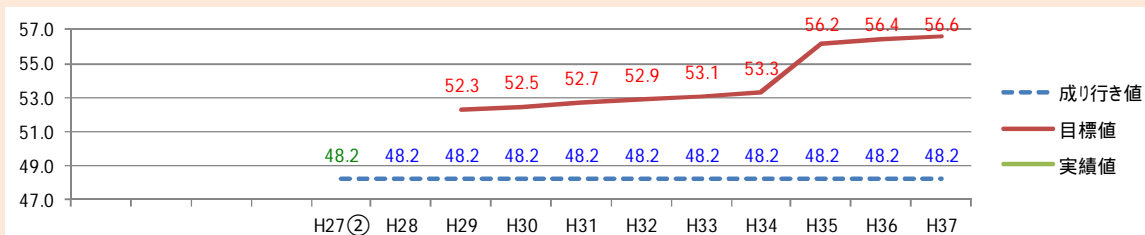
P 37

健康に関心を持って、継続して健康づくりに取り組んでいる市民の割合



「あなたは、健康に関心を持って、継続して健康づくりに取り組んでいますか。」という設問で、「1.取り組んでいる 2.取り組んでいない」のうち、「1」と回答した市民の割合。

(参考) 運動やスポーツに取り組んでいる市民の割合



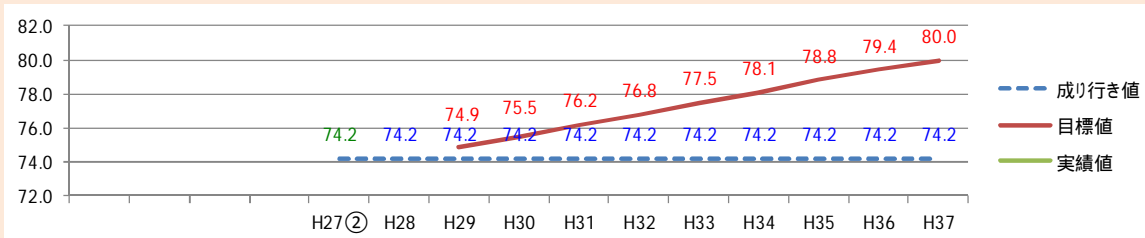
「あなたは、どれくらいの頻度で運動やスポーツに取り組んでいますか。一番近いものをお選びください。」という設問で、「1.毎日 2.週に6日 3.週に5日 4.週に4日 5.週に3日 6.週に2日 7.週に1日 8.月に1日～3日 9.取り組んでいない」のうち、「8」「9」以外と回答した市民の割合。

成果指標グラフ

4-2 保健・医療の充実

P 38

健康な生活を送れていると思う市民の割合

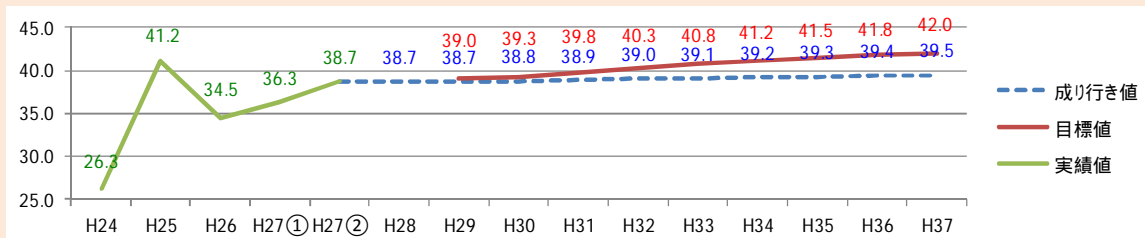


「あなたは、健康な生活を送れていると思いますか。」という設問で、「1.はい 2.いいえ」のうち、「1」と回答した市民の割合。

4-3 生涯学習の充実

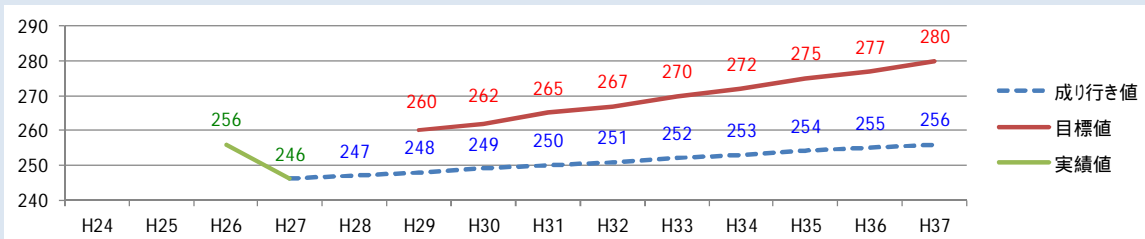
P 39

目的を持って、継続して自発的、自主的に生涯学習に取り組んでいる市民の割合



「あなたは、目的を持って、継続して自発的、自主的に生涯学習に取り組んでいますか。」という設問で、「1.取り組んでいる 2.取り組んでいない」のうち、「1」と回答した市民の割合。

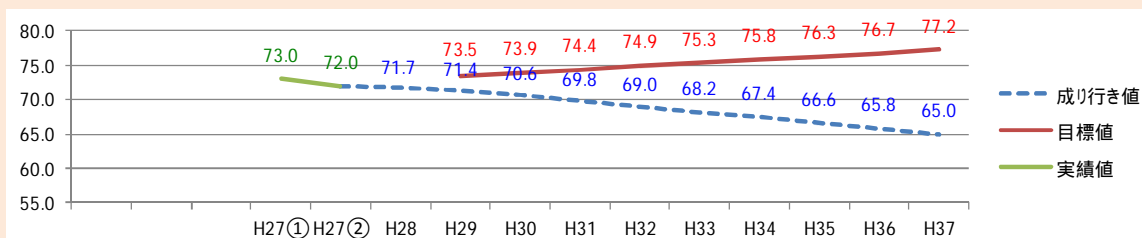
文化人財バンクの派遣件数



5-1 地域福祉の充実

P 41

安心して生活できている市民の割合

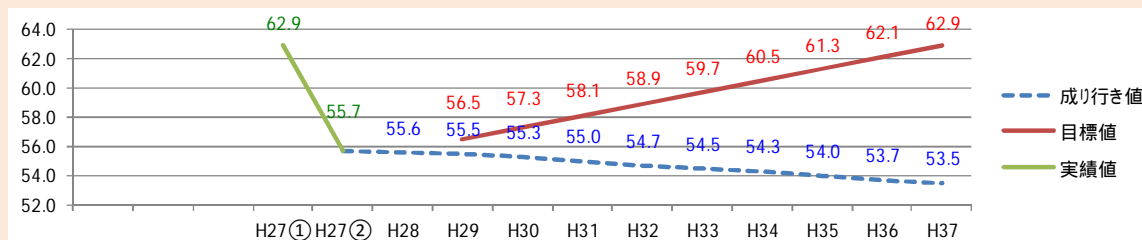


「あなたは、安心して生活ができていると思いますか。」という設問で、「1.安心して生活できている 2.どちらかといえば安心して生活できている 3.どちらかといえば安心して生活できていない 4.安心して生活できていない」のうち、「1」「2」と回答した市民の割合。

5-2 高齢者福祉・介護の充実

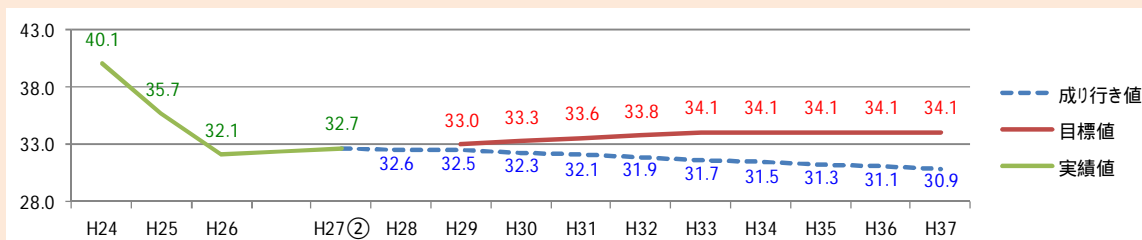
P 42

生きがいを持って自立した生活ができている高齢者（65歳以上）の割合



「あなたは、生きがいを持って、自立した生活ができていますか。」という設問で、「1.生きがいを持って、自立した生活ができています 2.生きがいは持っているが、自立した生活はできていない 3.生きがいは持っていないが、自立した生活はできています 4.生きがいも持っていないし、自立した生活もできていない」のうち、「1」と回答した高齢者（65歳以上）の割合。

高齢福祉・介護サービスが充実していると思う市民の割合



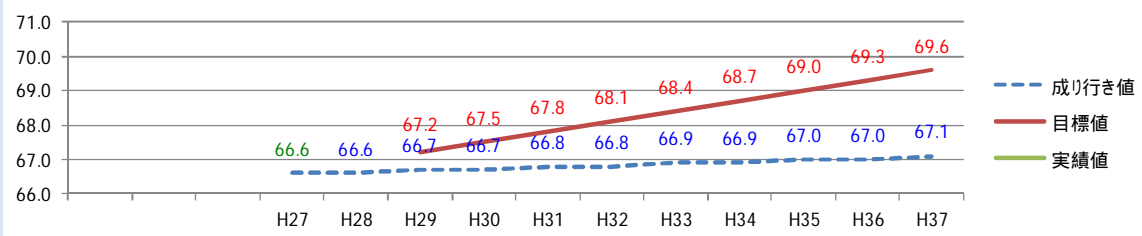
「あなたは、小城市の高齢者福祉・介護サービスが充実していると思いますか。」という設問で、「1.充実している 2.どちらかといえば充実している 3.どちらかといえば充実していない 4.充実していない 5.わからない」のうち、「1」「2」と回答した市民の割合。

成果指標グラフ

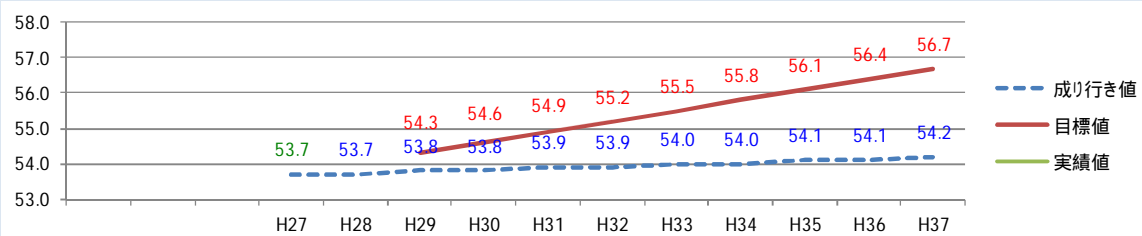
5-3 障がい者福祉の充実

P 43

社会参加している障がい者の割合



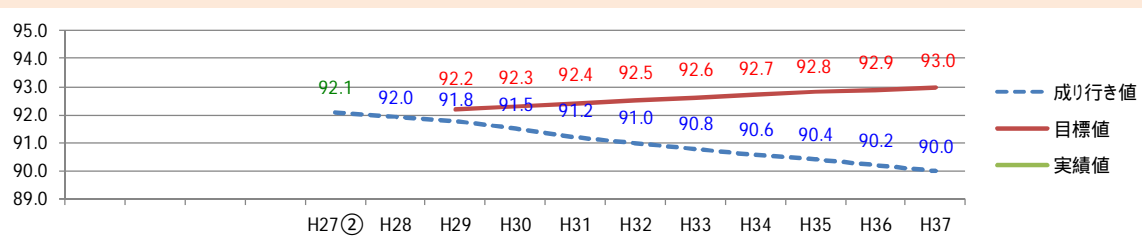
障害福祉サービスが充実していると思う障がい者の割合



5-4 じんけん尊重社会の確立

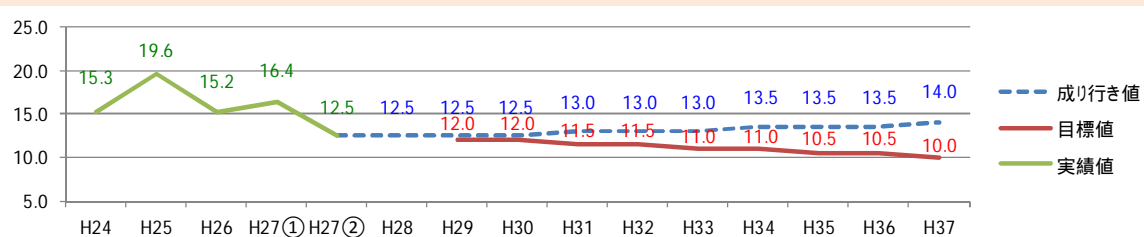
P 44

人権侵害や差別をしないようにしたいと思う市民の割合



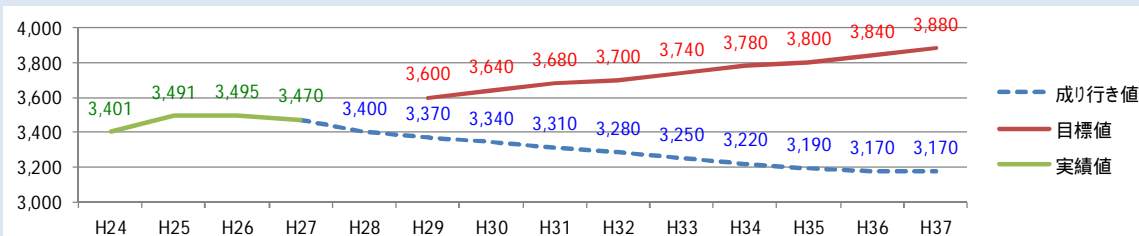
「人権・同和問題について、自分の考えに一番近いものをお選びください。」という設問で、「1.差別をしていないし、しようとも思わない 2.差別をしているかもしれないが、差別をしたいとは思っていない 3.人権・同和について考えたことがない」のうち、「1」「2」と回答した市民の割合。

この1年間に人権侵害を受けたと思う市民の割合



「あなたは、この1年間に、自分の人権が侵害されたと思うことがありますか。（複数回答可）」という設問で、「1.人権が侵害されたと思ったことはない 2.あらぬうわさや悪口、落書き、ネットなどで名誉や信用を傷つけられたり、侮辱されたりした 3.人種・信条・性別・社会的身分等を理由に差別された 4.地域や職場などにおいて仲間はずれやいじめなど不当な扱いを受けた 5.学校において体罰やいじめなど不当な扱いを受けた 6.家庭などで虐待やDVなど不当な扱いを受けた 7.役所や医療機関、福祉施設などで不当な扱いを受けた 8.プライバシーを侵害された 9.セクシャルハラスメント（性的いやがらせ）やストーカー（つきまとい）行為を受けた 10.パワーハラスメント（権力や地位を利用した嫌がらせ）行為を受けた 11.その他（上記のほか、人権侵害と思われる扱いを受けた）」のうち、「1」以外と回答した市民の割合。

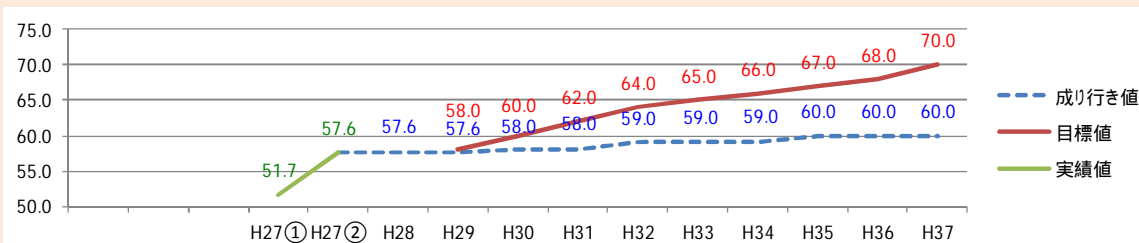
(参考) 講演会、研修会、出前講座参加者数



5-5 男女共同参画の推進

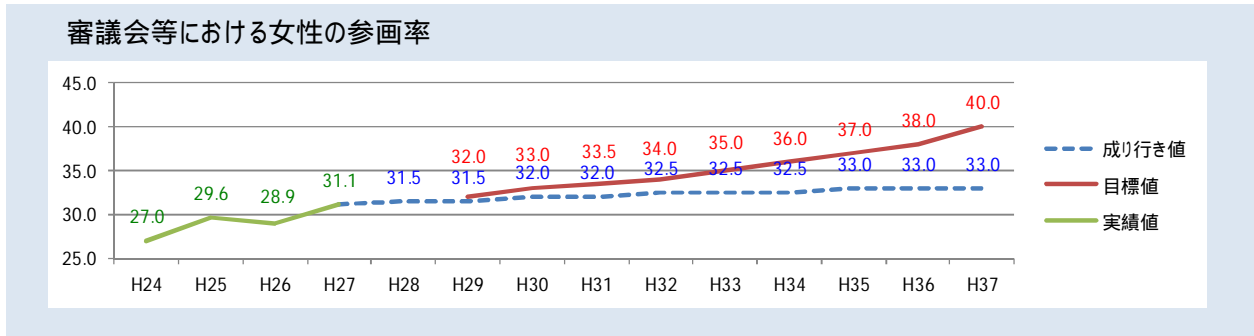
P 45

性別によって役割を固定する考え方（夫は外で働き、妻は家庭を守るべき）に反対する市民の割合

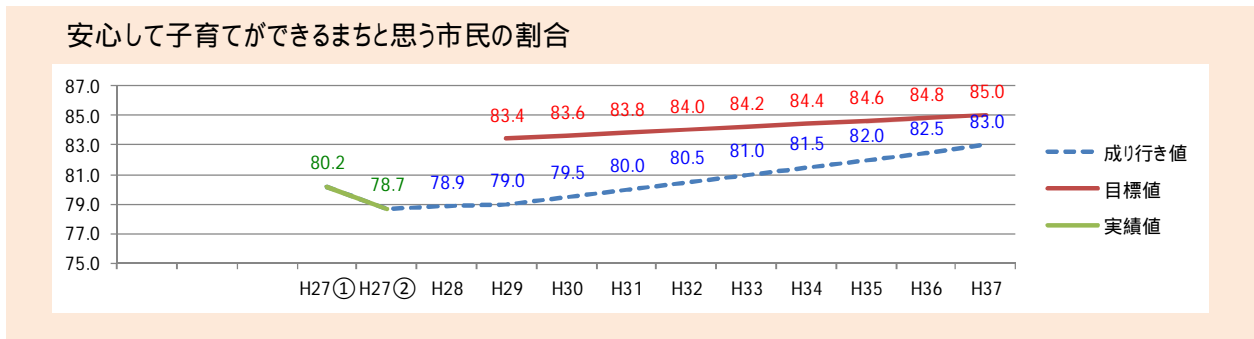


「あなたは、家庭生活において「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」と思いますか、自分の考えに一番近いものをお選びください。」という設問で、「1.賛成（そうだと思う） 2.どちらかといえば賛成 3.どちらかといえば反対 4.反対（おかしいと思う）」のうち、「3」「4」と回答した市民の割合。

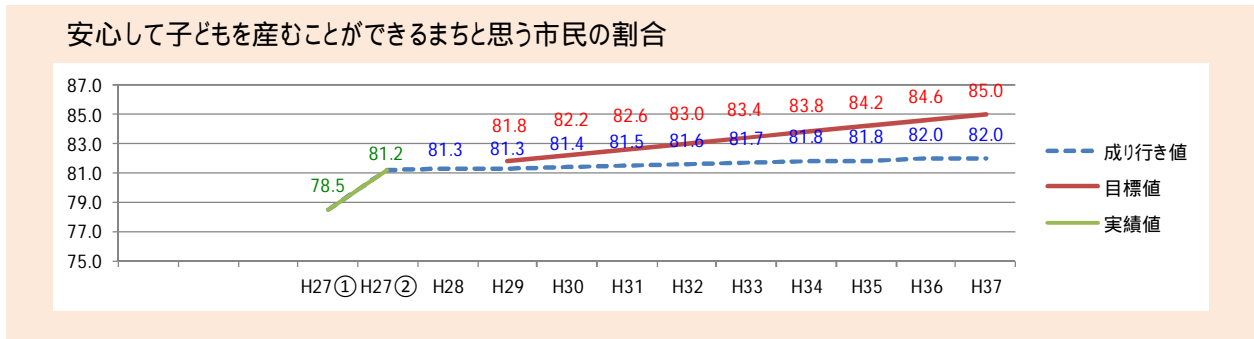
成果指標グラフ



6-1 子育て支援の充実 P 47



「あなたは、小城市が「安心して子育てができるまち」だと思いますか。」という設問で、「1.思う 2.どちらかといえば思う 3.どちらかといえば思わない 4.思わない」のうち、「1」「2」と回答した市民の割合。

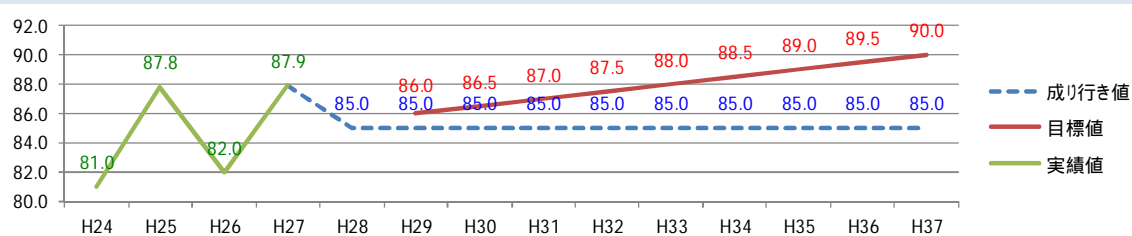


「あなたは、小城市が「安心して子どもを産むことができるまち」だと思いますか。」という設問で、「1.思う 2.どちらかといえば思う 3.どちらかといえば思わない 4.思わない」のうち、「1」「2」と回答した市民の割合。

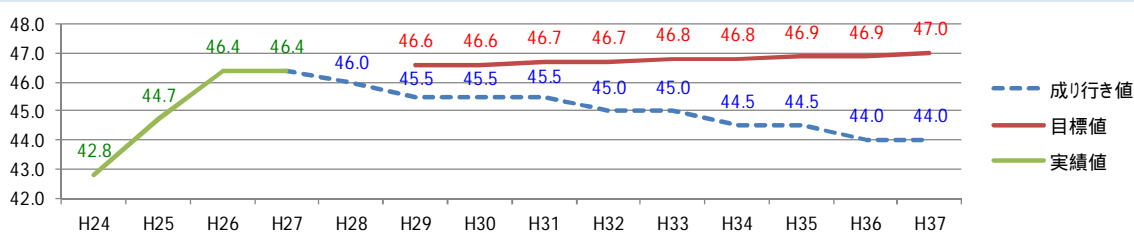
6-2 学校教育、幼児教育・保育の充実

P 48

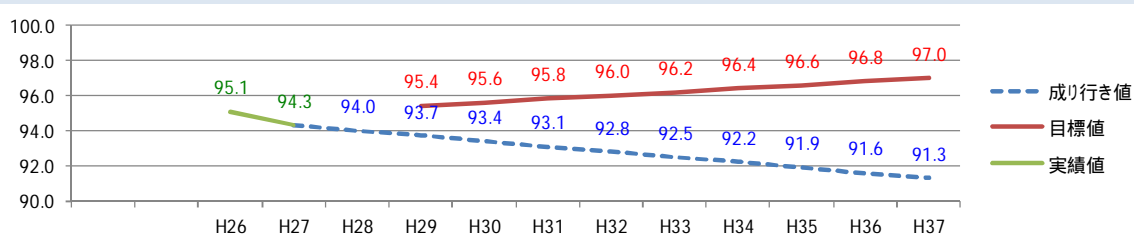
進路希望達成率



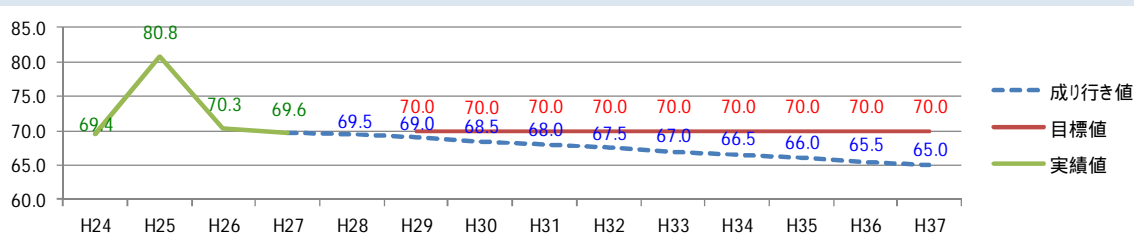
全国体力調査体力合計点



豊かな心を持つ子どもの割合

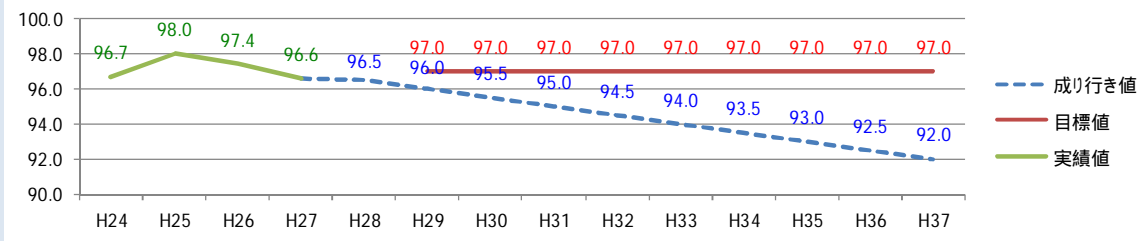


基本的な生活習慣（早寝・早起き）を実践している就学前の子どもの割合



成果指標グラフ

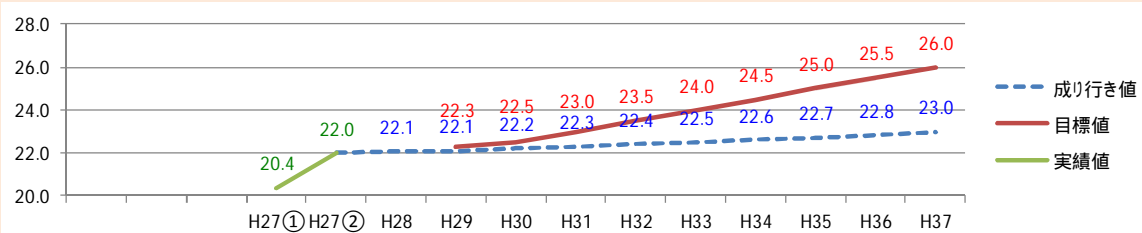
基本的な生活習慣（朝ごはん）を実践している就学前の子どもの割合



6-3 青少年の健全育成

P 49

地域との関わりの中で、子どもたちが心身ともに健やかにたくましく成長していると思う市民の割合

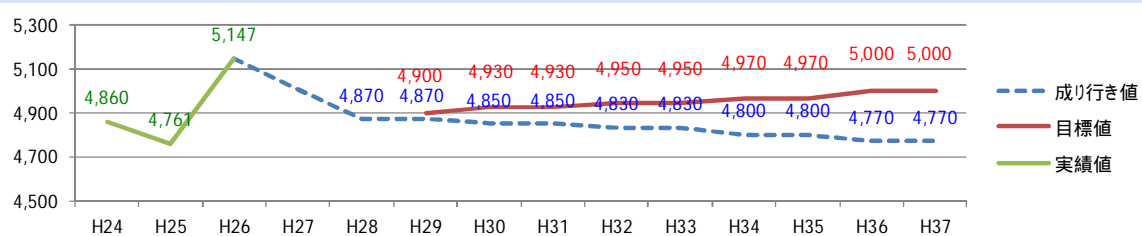


「あなたは、子どもたちが地域との関わりの中で、心身ともに健やかにたくましく成長していると思いますか。」という設問で、「1.思う 2.どちらかといえば思う 3.どちらかといえば思わない 4.思わない」のうち、「1」と回答した市民の割合。

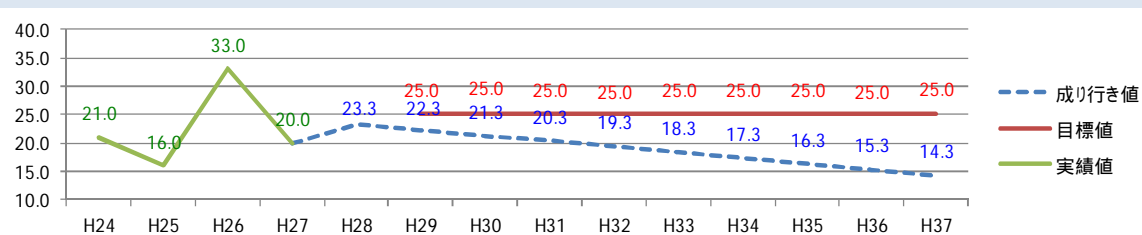
7-1 農林業の振興

P 51

農業世帯の平均農業収入額



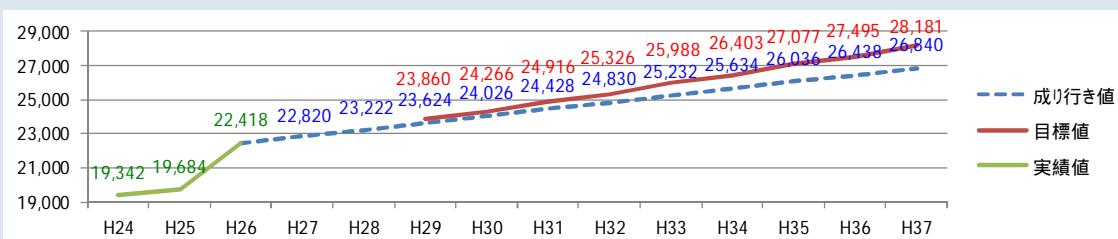
間伐を実施した面積



7-2 水産業の振興

P 52

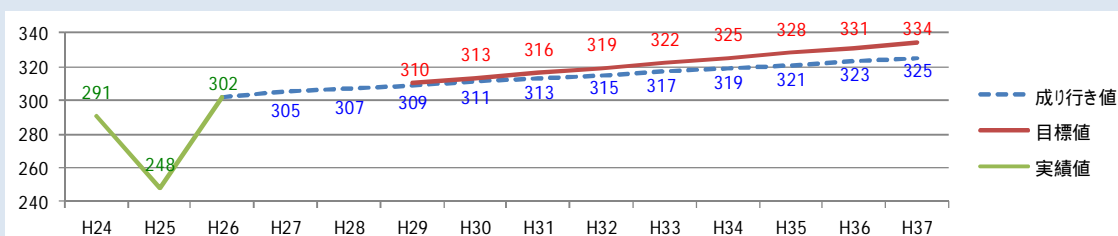
1漁家あたりの漁業出荷額



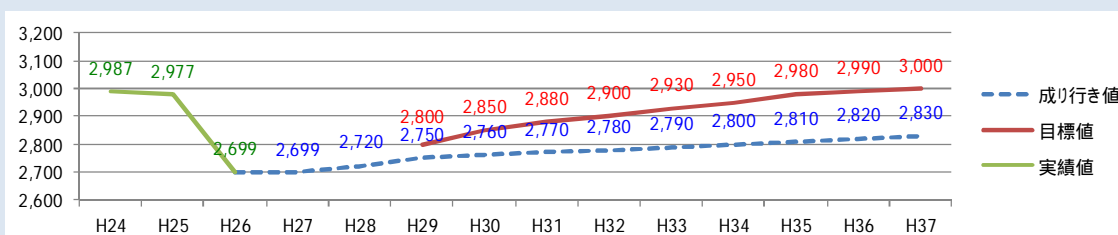
7-3 商工業の振興

P 53

1事業所あたりの法人市民税の課税額



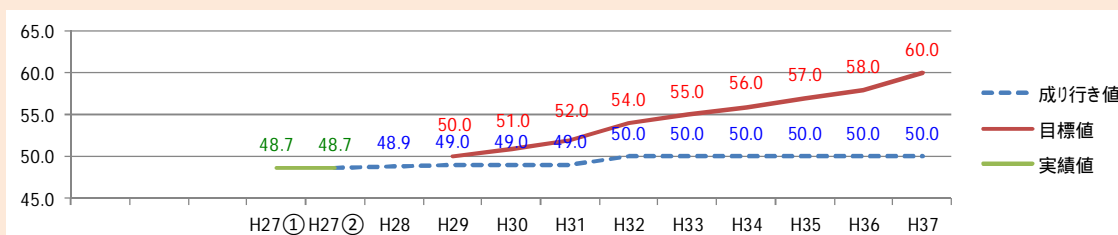
(参考) 製造品出荷額



8-1 多様な文化の理解と地域間交流の推進

P 55

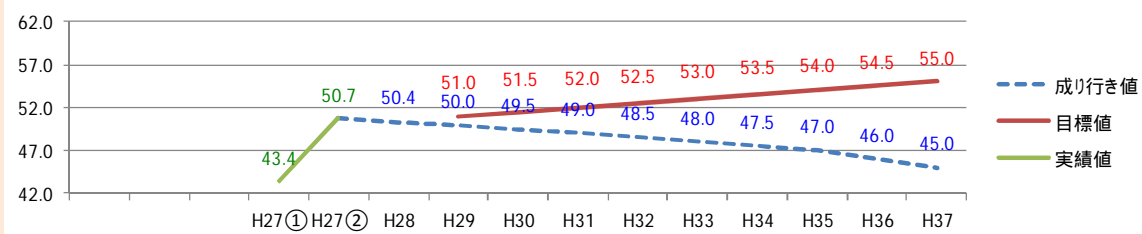
多様な文化を理解することの必要性を感じる市民の割合



「あなたは、多様な文化を理解することは必要だと思いますか。」という設問で、「1.必要 2.どちらかといえば必要 3.どちらかといえば必要ない 4.必要ない」のうち、「1」と回答した市民の割合。

成果指標グラフ

主体的に地域間交流活動に取り組んだ市民の割合

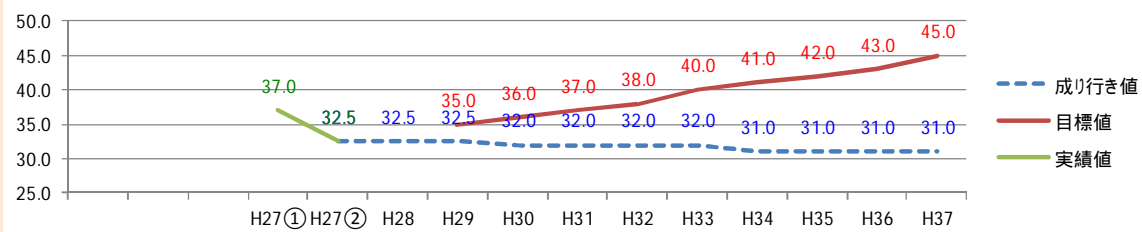


「あなたは、この1年間に地域間交流活動に主体的に協力又は参加しましたか。（複数回答可）」という設問で、「1.自分が住んでいる地域（町）以外の人との交流活動に協力又は参加した 2.自分が住んでいる地域（町）の人との交流活動に協力又は参加した 3.交流活動に協力も参加もしていない」のうち、「3」以外と回答した市民の割合。

8-2 協働によるまちづくりの推進

P 56

まちづくり活動に参加している市民の割合

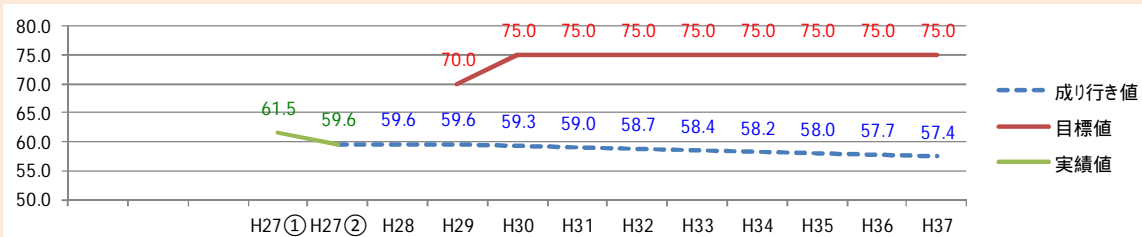


「あなたは、地域の様々な課題解決のためのまちづくり活動に参加していますか。」という設問で、「1.現在参加しており、今後も続けたい 2.現在参加しているが、今後はやめたい 3.現在参加していないが、今後は参加したい 4.現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」のうち、「1」「2」と回答した市民の割合。

9-1 情報発信の充実

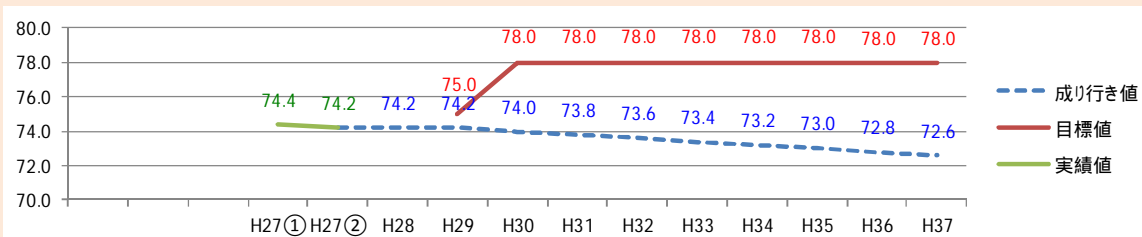
P 58

自分が知りたい市に関する情報を容易に知ることができている市民の割合



「あなたは、ご自分が知りたい市に関する情報を容易に知ることができていますか。」という設問で、「1.知ることができている 2.どちらかといえば知ることができている 3.どちらかといえば知ることができない 4.知ることができない」のうち、「1」「2」と回答した市民の割合。

市の情報発信に満足している市民の割合

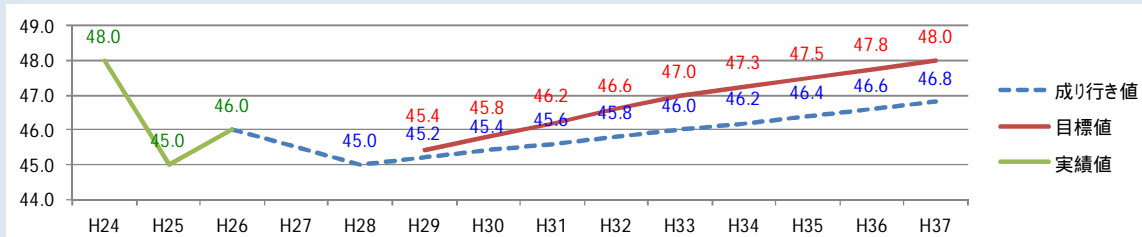


「小城市では、広報紙やホームページのほか、ケーブルテレビ、FMラジオ、twitter、LINEで情報を発信しています。あなたは、小城市からの情報発信に満足していますか（十分だと思いますか）。」という設問で、「1.満足している（十分だと思う） 2.どちらかといえば満足している 3.どちらかといえば満足していない 4.満足していない（不十分だと思う）」のうち、「1」「2」と回答した市民の割合。

9-2 観光の振興

P 59

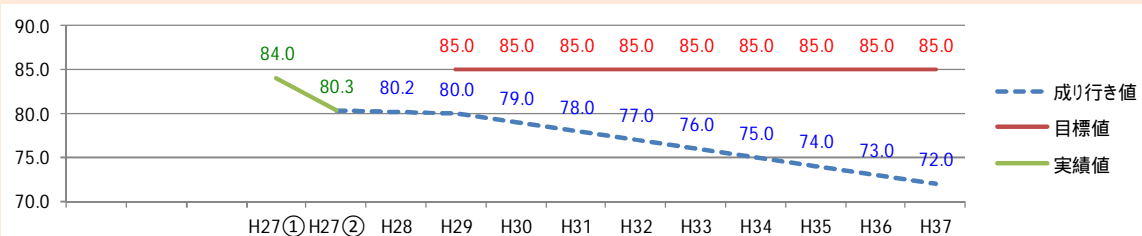
小城市の観光入込客数



10-1 防災・減災体制の充実

P 61

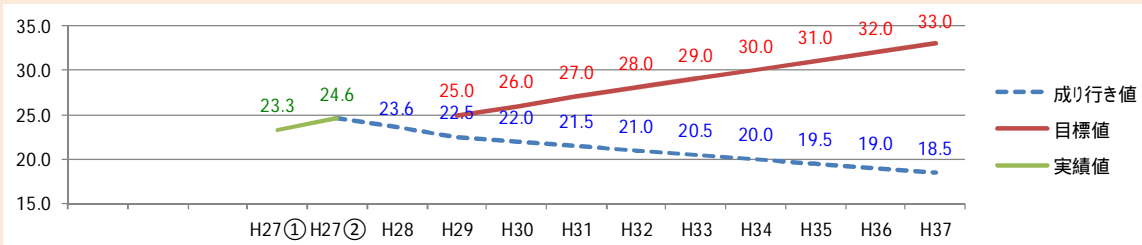
災害に対する防災を日頃から意識している市民の割合



「あなたは、自然災害に対する防災を日頃から意識していますか。」という設問で、「1.意識している 2.どちらかといえば意識している 3.どちらかといえば意識していない 4.意識していない」のうち、「1」「2」と回答した市民の割合。

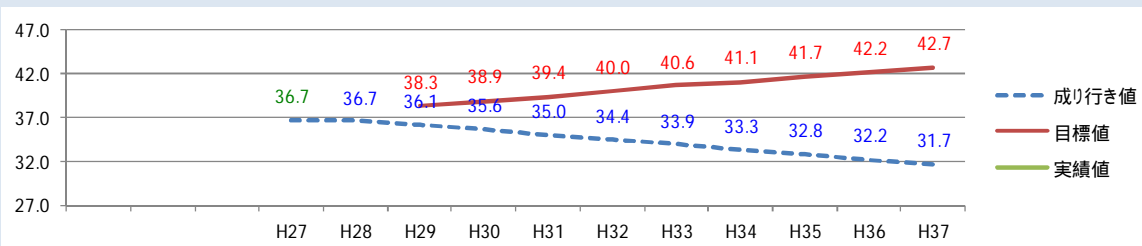
成果指標グラフ

普段からいざというときの防災の準備をしている市民の割合

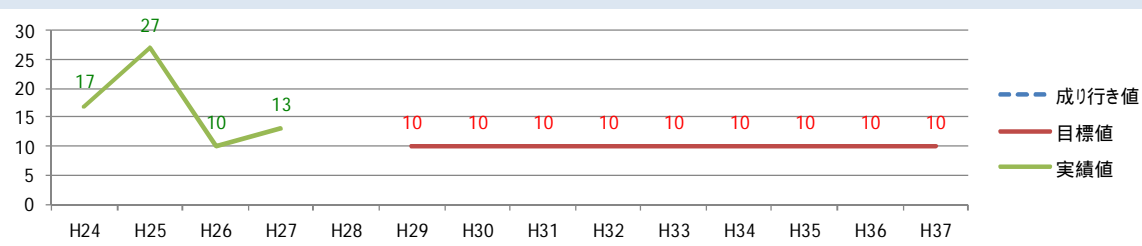


「あなたは、普段から防災（いざというとき）の準備をしていますか。」という設問で、「1.準備をしている 2.準備をしていない」のうち、「1」と回答した市民の割合。

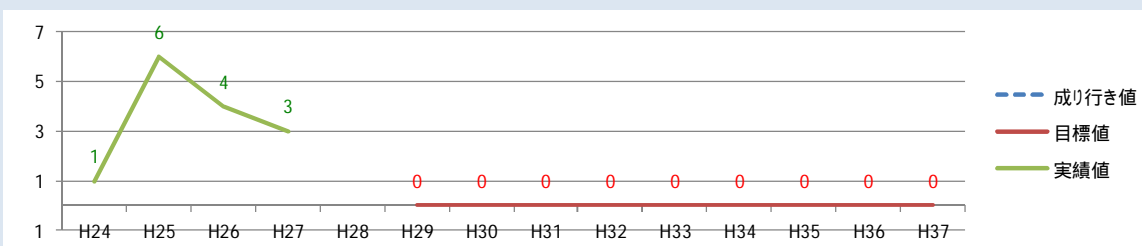
自主防災組織があるべき組織になっている割合



(参考) 火災発生件数



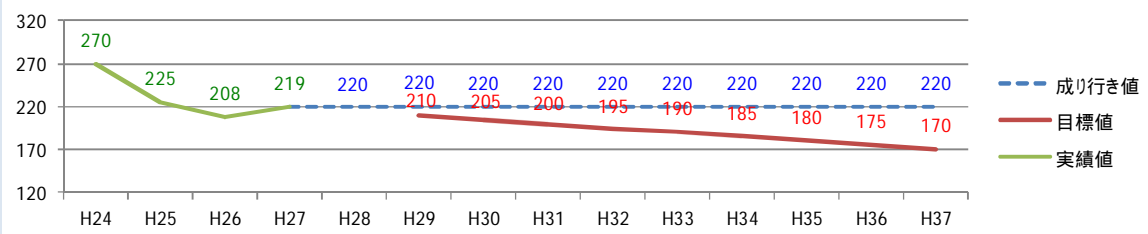
(参考) 人的被害件数（死亡・負傷者）



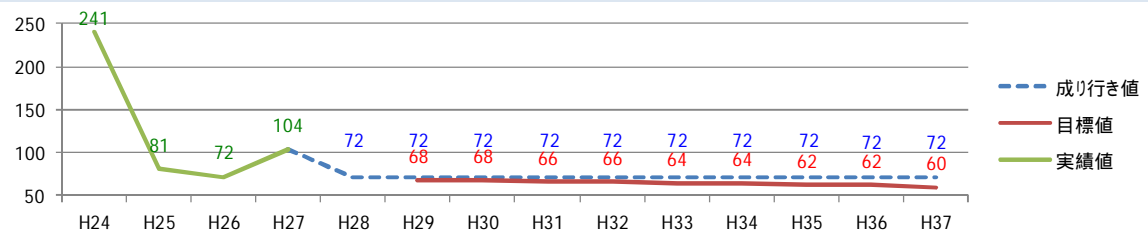
10-2 防犯体制の充実

P 62

犯罪発生件数



青少年の不良行為人数



政策体系（政策1～5）

将来像	政策	施策	基本事業
誇郷幸輝 みんなの笑顔が輝き幸せを感じるふるさと小城市	政策1 住みたい！と思う 笑顔が集まるキレイなまち	1-1 計画的な土地利用の推進と効率的な都市づくり	計画に沿った土地利用の誘導 地域の特性を活かした拠点地区の形成と相互連携 住宅地の整備や良質な住まいづくりの促進
		1-2 居住環境の充実	居住周辺環境の整備保全と環境衛生の充実 地域での環境意識の醸成
		1-3 水道水の安全・安定供給	安全な水道水の供給 適切な水道事業運営・安定した経営 水道施設の整備
		1-4 下水処理の充実	下水道環境の整備 下水道の加入及び水洗化の向上 安定した下水道事業の運営及び経営
		1-5 循環型社会の形成	ごみ減量化の推進 分別意識の向上とリサイクルの推進 ごみ処理体制の充実
	政策2 安全に みんなが行き交うまち	2-1 道路の保全と交通網の充実	幹線道路の適切な維持管理 国・県道へ接続する道路交通網の整備・充実 地域公共交通の利用促進
		2-2 交通安全対策の充実	交通安全に関する講習・啓発の推進 交通安全の環境整備
	政策3 歴史、文化と歩んでいく 自然豊かなまち	3-1 自然環境の保全	自然環境保全の啓発 自然環境保全活動の推進
		3-2 歴史の継承、文化・芸術の振興	歴史、文化・芸術に関する情報の提供と施設の活用 伝統芸能の継承 文化財の適正な保存
	政策4 みんなが健やかで 生きがいを感じるまち	4-1 健康づくりと生涯スポーツの充実	地域資源磨きによる健康の拠点づくり 健康づくりの推進 ライフステージに応じたスポーツの推進と施設の充実
		4-2 保健・医療の充実	疾病予防対策の推進 健康診断・がん検診・健康相談の実施 地域医療の充実
		4-3 生涯学習の充実	生涯学習環境・活動の充実 生涯学習の地域への還元
	政策5 みんなでささえあう やさしいまち	5-1 地域福祉の充実	地域福祉の情報提供と相談支援体制の充実 生活保護制度の適切な運営 地域住民による見守り体制の充実 国民皆保険の維持
		5-2 高齢者福祉・介護の充実	介護予防・生活支援の充実 生きがいづくりの促進
		5-3 障がい者福祉の充実	在宅障がい者への生活支援の充実 就労支援の充実 障がい者の地域活動支援
		5-4 じんけん尊重社会の確立	じんけん教育・啓発の推進 人権相談の充実
		5-5 男女共同参画の推進	男女共同参画に対する理解の促進 様々な場・機会での男女共同参画の推進

政策体系（政策6～10、行政経営）

将来像	政策	施策	基本事業
誇郷幸輝 みんなの笑顔が輝き幸せを感じるふるさと小城市	政策6 子どもが自分らしく 笑顔で育っていけるまち	6-1 子育て支援の充実	子育て関連情報の提供と相談支援体制の充実 子どもの安全な環境づくりの推進
		6-2 学校教育、幼児教育・保育の充実	施設・設備環境の整備 学校教育の推進 子どもたちの体づくり 相談・支援体制の充実 幼児教育・保育の推進
		6-3 青少年の健全育成	青少年健全育成環境づくり 青少年のための地域活動の推進
	政策7 地域の資源を活かし 企業も市民も元気なまち	7-1 農林業の振興	農業基盤整備の推進と経営の安定強化 就農者に対する支援 森林環境の保全の推進
		7-2 水産業の振興	漁業生産基盤の充実 担い手の育成と支援
		7-3 商工業の振興	優良企業の立地の促進 商品のPRの強化 関係団体と連携した経営支援 商店街の活性化
	政策8 幅広い交流を深め にぎわいのあるまち	8-1 多様な文化の理解と地域間交流の推進	国際交流推進のための環境づくり 地域間交流の促進
		8-2 協働によるまちづくりの推進	まちづくり活動への市民参画の促進 市民活動団体の活性化 地域の自治機能向上の推進
	政策9 市民みんなが観光ガイド！ ひとがひとを呼ぶまち	9-1 情報発信の充実	広報媒体を使った情報提供の充実 情報管理の推進
		9-2 観光の振興	観光スポット・イベントのPR 観光資源の磨き上げ 関係団体との連携
	政策10 ひとりひとりの力を合わせて 防犯・防災 安心して暮らせるまち	10-1 防災・減災体制の充実	自主防災組織の充実 防災意識の啓発推進 危機管理対策の充実
		10-2 防犯体制の充実	犯罪防止の環境整備 防犯意識の普及・啓発 消費生活の啓発・相談
	計画推進のための 行政経営	行-1 人材育成の推進	適正な人事管理の構築 快適な職場環境づくり
		行-2 行政改革の推進	行政経営の推進 改革改善の推進
		行-3 健全な財政運営の推進	歳入歳出の適正化 計画的な財政運営 財政状況の啓発
		行-4 業務執行体制の充実	ICT利活用の推進 公有財産の適正管理 広域行政の推進 各種行政サービスの提供

成果指標（施策1-1～5-2）

施策	成果指標	H27	H33	H37
1-1 計画的な土地利用の推進と効率的な都市づくり	土地利用に関する無届（未届）件数（農地法・都市計画法・国土利用計画法）	7件	0件	0件
	農業振興地域のうち農用地区域に占める遊休農地の割合	9.4%	6.5%	4.5%
	拠点地区が活力あると感じている市民の割合	35.0%	40.0%	42.0%
	小城市に住み続けたいと思う市民の割合	65.9%	68.5%	70.5%
1-2 居住環境の充実	快適な居住環境で暮らしている市民の割合	40.2%	45.7%	50.0%
	居住環境に関する要望件数	209件	185件	165件
1-3 水道水の安全・安定供給	水質検査の適合率	100%	100%	100%
	上水道の有収率	87.9%	89.0%	89.0%
	（参考）西佐賀水道の水質検査の適合率	100%	100%	100%
	（参考）西佐賀水道の有収率	87.9%	89.7%	89.7%
1-4 下水処理の充実	下水道普及率	48.7%	65.9%	76.0%
	下水道水洗化率	68.9%	74.6%	79.2%
	汚水処理人口普及率	75.5%	86.1%	92.0%
	汚水処理人口水洗化率	85.2%	85.2%	87.1%
1-5 循環型社会の形成	家庭系廃棄物市民1人あたり排出日量	579.2g	558.0g	553.0g
	事業系廃棄物事業所1社あたり排出日量	17.2kg	15.5kg	14.2kg
	（参考）ごみ減量化に取り組んでいる市民の割合	78.2%	82.0%	85.0%
2-1 道路の保全と交通網の充実	市道が適切な管理がなされていないことでの要望件数	81件	66件	60件
	市内の道路について、目的地まで行きやすいと思う市民の割合	32.6%	35.0%	40.0%
	公共交通機関を便利だと思う市民の割合	39.5%	39.5%	39.5%
2-2 交通安全対策の充実	人口1万人あたりの人身事故発生件数	105.1件	94.5件	83.1件
	人口1万人あたりの交通事故死傷者数	144.3人	126.8人	107.9人
	（参考）人身事故発生件数	482件	415件	355件
	（参考）交通事故死傷者数	662人	557人	461人
3-1 自然環境の保全	自然環境が保全されていると思う市民の割合	23.2%	27.2%	30.0%
	自然環境の保全活動に取り組んでいる市民の割合	22.6%	26.6%	30.0%
3-2 歴史の継承、文化・芸術の振興	歴史、文化・芸術活動に取り組んでいる市民の割合	10.4%	14.2%	16.6%
	文化財の指定件数	82件	87件	91件
	（参考）文化財を適正に保存できなかった件数	0件	0件	0件
4-1 健康づくりと生涯スポーツの充実	健康に関心を持って、継続して健康づくりに取り組んでいる市民の割合	76.6%	77.1%	77.5%
	（参考）運動やスポーツに取り組んでいる市民の割合	48.2%	53.1%	56.6%
4-2 保健・医療の充実	健康な生活を送れていると思う市民の割合	74.2%	77.5%	80.0%
4-3 生涯学習の充実	目的を持って、継続して自発的、自主的に生涯学習に取り組んでいる市民の割合	38.7%	40.8%	42.0%
	文化人財バンクの派遣件数	246件	270件	280件
5-1 地域福祉の充実	安心して生活できている市民の割合	72.0%	75.3%	77.2%
5-2 高齢者福祉・介護の充実	生きがいを持って自立した生活ができている高齢者（65歳以上）の割合	55.7%	59.7%	62.9%
	高齢福祉・介護サービスが充実していると思う市民の割合	32.7%	34.1%	34.1%

成果指標（施策5-3～10-2）

施策	成果指標	H27	H33	H37
5-3 障がい者福祉の充実	社会参加している障がい者の割合	66.6%	68.4%	69.6%
	障がい福祉サービスが充実していると思う障がい者の割合	53.7%	55.5%	56.7%
5-4 じんけん尊重社会の確立	人権侵害や差別をしないようにしたいと思う市民の割合	92.1%	92.6%	93.0%
	この1年間に人権侵害を受けたと思う市民の割合	12.5%	11.0%	10.0%
	（参考）講演会、研修会、出前講座参加者数	3,470人	3,740人	3,880人
5-5 男女共同参画の推進	性別によって役割を固定する考え方（夫は外で働き、妻は家庭を守るべき）に反対する市民の割合	57.6%	65.0%	70.0%
	審議会等における女性の参画率	31.1%	35.0%	40.0%
6-1 子育て支援の充実	安心して子育てができるまちと思う市民の割合	78.7%	84.2%	85.0%
	安心して子どもを産むことができるまちと思う市民の割合	81.2%	83.4%	85.0%
6-2 学校教育、幼児教育・保育の充実	進路希望達成率	87.9%	88.0%	90.0%
	全国体力調査体力合計点	46.4点	46.8点	47.0点
	豊かな心を持つ子どもの割合	94.3%	96.2%	97.0%
	基本的な生活習慣（早寝・早起き）を実践している就学前の子どもの割合	69.6%	70.0%	70.0%
	基本的な生活習慣（朝ごはん）を実践している就学前の子どもの割合	96.6%	97.0%	97.0%
6-3 青少年の健全育成	地域との関わりの中で、子どもたちが心身ともに健やかにたくましく成長していると思う市民の割合	22.0%	24.0%	26.0%
7-1 農林業の振興	農業世帯の平均農業収入額	(H26) 5,147千円	4,950千円	5,000千円
	間伐を実施した面積	20.0ha	25.0ha	25.0ha
7-2 水産業の振興	1漁家あたりの漁業出荷額	(H26) 22,418千円	25,988千円	28,181千円
7-3 商工業の振興	1事業所あたりの法人市民税の課税額	302千円	322千円	334千円
	（参考）製造品出荷額	2,699千万円	2,930千万円	3,000千万円
8-1 多様な文化の理解と地域間交流の推進	多様な文化を理解することの必要性を感じる市民の割合	48.7%	55.0%	60.0%
	主体的に地域間交流活動に取り組んだ市民の割合	50.7%	53.0%	55.0%
8-2 協働によるまちづくりの推進	まちづくり活動に参加している市民の割合	32.5%	40.0%	45.0%
9-1 情報発信の充実	自分が知りたい市に関する情報を容易に知ることができる市民の割合	59.6%	75.0%	75.0%
	市の情報発信に満足している市民の割合	74.2%	78.0%	78.0%
9-2 観光の振興	小城市の観光入込客数	(H26) 46.0万人	47.0万人	48.0万人
10-1 防災・減災体制の充実	災害に対する防災を日頃から意識している市民の割合	80.3%	85.0%	85.0%
	普段からいざというときの防災の準備をしている市民の割合	24.6%	29.0%	33.0%
	自主防災組織があるべき組織になっている割合	36.7%	40.6%	42.7%
	（参考）火災発生件数	13件	10件	10件
	（参考）人的被害件数（死亡・負傷者）	3件	0件	0件
10-2 防犯体制の充実	犯罪発生件数	219件	190件	170件
	青少年の不良行為人数	104人	64人	60人



市民



いっしょに
やる！



地域 団体 事業者





行政



いっしょにやる、ということ

— 多様性や変化と向き合う時代の自治体職員に求められるもの —



2014年6月20日(月) 9:30-18:30



Special Thanks

小城市総合計画審議会

吉岡 剛彦 (会長)

古賀 裕子 (副会長)

堤 敏昭

徳丸 敬修

藤井 良重

副島 久美子

古賀 弘基

秋丸 喜代晴

塚原 輝義

大庭 敏伸

本村 廣太

大迫 興子

今村 力哉

(順不同・敬称略)

まちづくり市民会議に
参加していただいた皆様

市民アンケートに
回答していただいた皆様